



取扱説明書  
v1.0

本取扱説明書は、Kontinum社によるK100のユーザーマニュアルに基づき、K100の機能をそのまま説明しています。日本国内とは法令、規制その他等に準拠していない記載が含まれる場合があります。国内のメーカーウェブサイトや商品に添付される国内向けの注意書きなどを確認の上でご利用ください。

# 目次

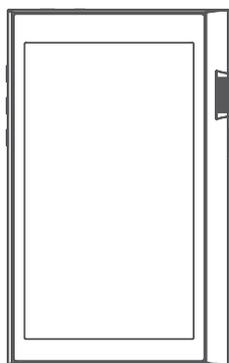
<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
同梱物の確認 .....	5
各部の名称と機能 .....	6
ボタンの動作と機能 .....	7
バッテリー交換 - バッテリーの取り外し .....	8
バッテリー交換 - バッテリーの取り付け .....	9
本機の充電と電源の管理 .....	10
Windowsパソコンとの接続と取り外し .....	11
Macとの接続と取り外し .....	12
MicroSDカードの挿入と取り出し .....	13
イヤホン/光デジタル出力端子、バランス出力端子 (1) .....	13
イヤホン/光デジタル出力端子、バランス出力端子 (2) .....	14
ファームウェアの更新 .....	15
<b>2. 基本的な使い方</b> .....	<b>17</b>
ホーム画面と再生画面 .....	17
クイック設定画面 .....	18
ステータスバーについて .....	18
再生画面 - メニュー表示 .....	19
再生画面 - 検索モード .....	19
再生画面 - イコライザー設定 .....	20
再生画面 - 再生中のキュー .....	21
再生画面 - プレイリストに追加 .....	22
再生画面 - ファイル情報 .....	23
ミュージックライブラリー 曲 .....	24
ミュージックライブラリー アルバム .....	25
ミュージックライブラリー アーティスト .....	26
ミュージックライブラリー プレイリスト .....	27
ミュージックライブラリー フォルダ .....	28

<b>3. 他社製アプリのインストールとアンインストール方法</b>	<b>29</b>
他社製アプリのインストール方法.....	29
他社製アプリのアンインストール方法 .....	32
<b>4. 設定メニュー</b> .....	<b>33</b>
Wi-Fi設定 .....	34
Bluetooth設定.....	35
ディスプレイ設定 .....	36
ストレージ設定 .....	37
アプリケーション設定 .....	38
出力設定 ラインアウト .....	39
出力設定 バランス .....	40
出力設定 DSPモードとゲインコントロール .....	41
スリープタイマー設定.....	42
USB設定 .....	43
言語と入力設定 .....	44
日付と時刻設定 .....	45
初期化設定 (1) データベース初期化.....	46
初期化設定 (2)設定初期化、システムの初期化 .....	47
初期化設定 (3) 出荷時の設定にリセット .....	48
ファームウェア更新 .....	49
情報.....	50
<b>5. 製品の仕様</b> .....	<b>51</b>
<b>6. 安全のための注意事項</b> .....	<b>52</b>
<b>7. 免責事項</b> .....	<b>54</b>
<b>8. 困ったときは</b> .....	<b>55</b>
<b>9. お問い合わせ窓口</b> .....	<b>57</b>

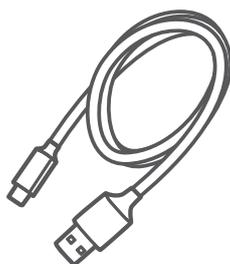
# 1. はじめに

## 同梱物の確認

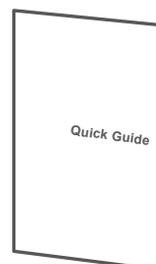
この度はK100をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
製品を開梱したら、まず同梱物を確認してください。



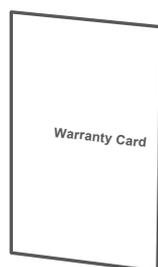
K100本体



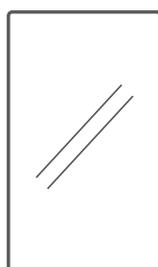
USB Type-Cケーブル



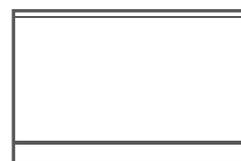
クイックガイド



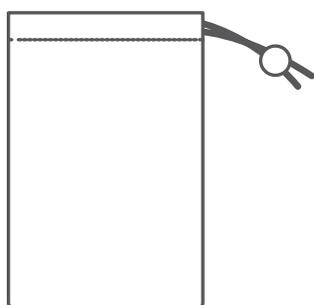
製品保証書



LCD保護シート



レザースタンド



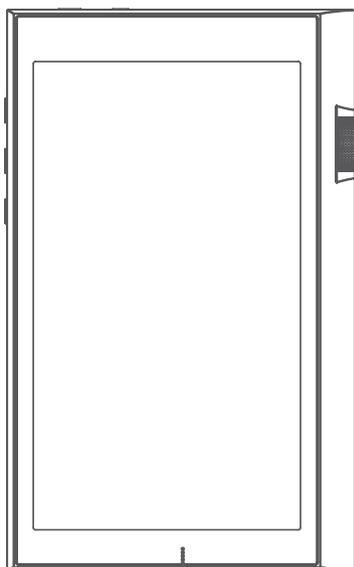
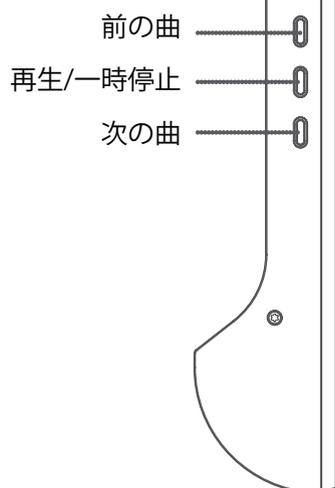
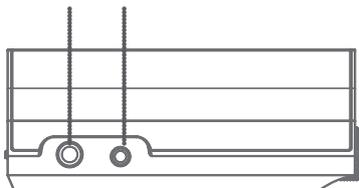
専用ポーチ

同梱品のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、製品の品質向上および機能改善のために内容が予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

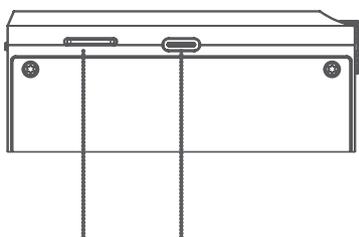
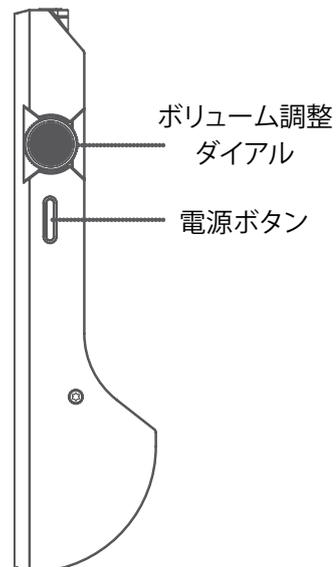
## 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下の図を参照してください。

イヤホン/光デジタル出力端子(3.5mm) バランス出力端子(2.5mm)



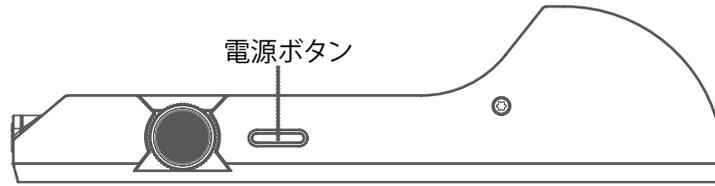
タッチスクリーン



MicroSDカードスロット USB Type-C ポート

## ボタンの動作と機能

### 電源ボタン:



1. 電源を入れる  
画面にロゴが表示されるまで電源ボタンを長押しすると本機の電源が入ります。
2. 電源を切る  
本機の電源が入った状態で、電源ボタンを長押しすると電源を切る確認メッセージが表示されます。  
[OK]をタップすると本機の電源が切れます。
3. 画面のオン/オフ  
本機の画面が消えている状態で電源ボタンを短く押すと画面が表示されます。  
電源ボタンを再度短く押すと画面が消えます。

### ※ 重要! 必ず読んでください。[本機をリセットする]

1. ご使用中に本機が正常に動作しない場合や操作に反応しない場合は電源ボタンを10秒以上長押しすることで電源が切れ本機をリセットすることができます。
2. 本機が正常に動作しない場合や操作に反応しない場合を除いて本機のリセットは行わないでください。  
メモリーカードが破損するおそれがあります。

### LCDタッチ画面:

液晶画面はタッチ操作可能です。

### ボリューム調整ダイヤル:



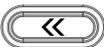
ボリューム調整ダイヤルを回して音量を0~150段階で調整できます。

### 再生/一時停止ボタン:



音楽を再生していない時にこのボタンを押すと音楽の再生が開始されます。  
音楽の再生中にこのボタンを押すと現在再生中の曲が一時停止されます。

### 前の曲ボタン:

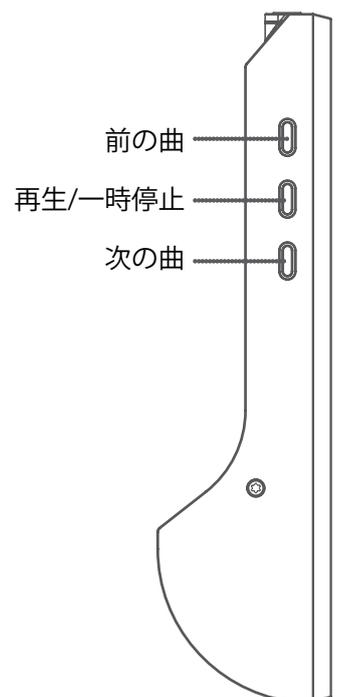


短く押す: 前の曲を再生、または現在再生中の曲を最初から再生します。  
長押し: 再生中の曲を早戻しします。

### 次の曲ボタン:



短く押す: 次の曲を再生。  
長押し: 再生中の曲を早送りします。



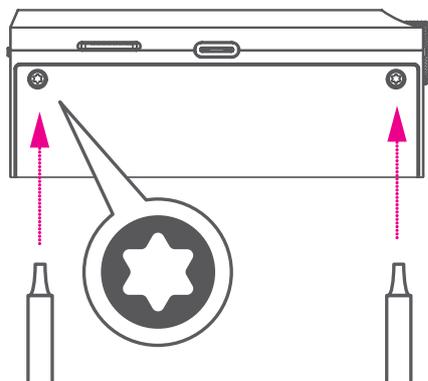
## バッテリー交換 - バッテリーの取り外し

本機の内部バッテリーは交換することができます。  
バッテリーを交換する場合は、以下の手順で取り外してください。

### 注意:

バッテリーの交換は、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

### ① T6ネジの取り外し

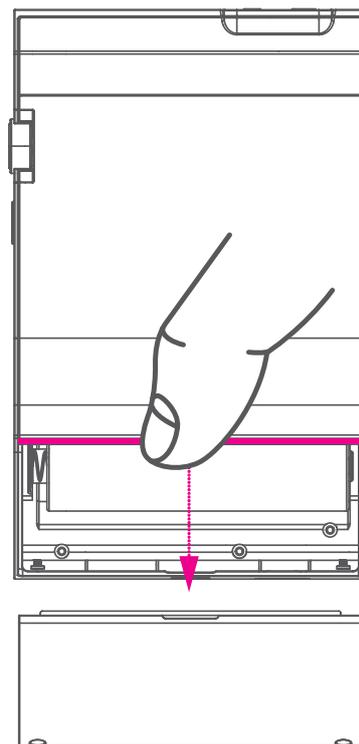


T6ドライバーを使って本機の底面(上図の矢印の位置)にあるT6ネジ 2本を取り外します。

### ※ 本製品にT6ドライバー (トルクスT6ドライバー) は付属しません。

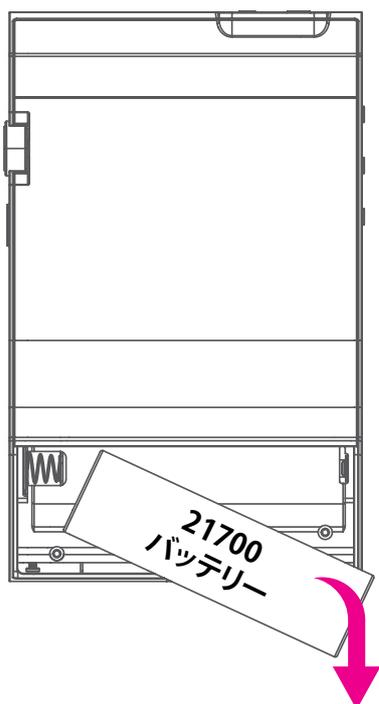
一般的な⊙や⊖ドライバーを使用するとネジ溝を破損する場合があります。  
その場合ネジを回せなくなり、カバーの取り外しができなくなりますので、  
正しいT6のトルクスドライバー以外は絶対に使わないでください。

バッテリーの交換に関する本ページ以下の記載は  
国外での使用を想定しております。  
国内におきましては、新品購入時に装着されている  
以外のバッテリーへの交換などはご自身では行わず、  
異常や不具合などで交換が必要と思われる場合は、  
必ずカスタマーサポートまでご連絡ください。



### ② バッテリーカバーの取り外し

図の矢印の方向にバッテリーカバーを  
スライドさせて取り外します。



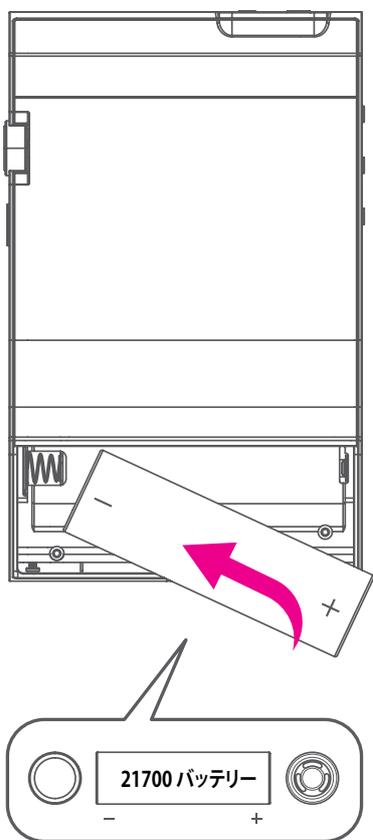
### ③ バッテリーの取り外し

左図の矢印の部分を手前に引くようにして  
バッテリーを取り外します。

## バッテリー交換 - バッテリーの取り付け

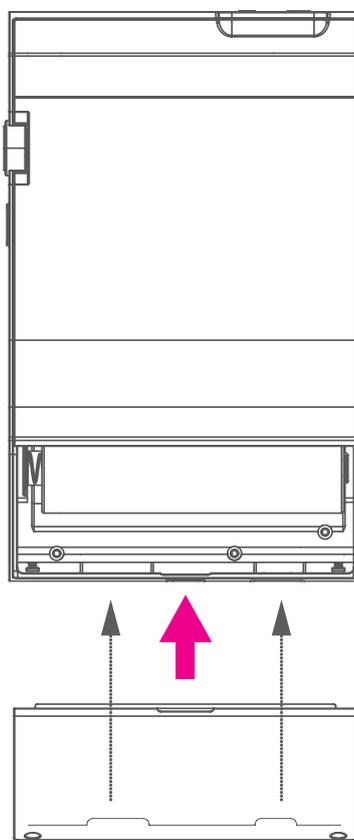
### ① バッテリーを本体に取り付ける

下図のようにバッテリーのマイナス側を先に挿入してバッテリーを本体のに取り付けます。



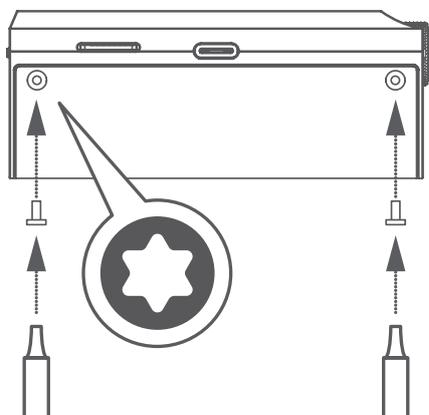
### ② バッテリーカバーを取り付ける

下図のようにバッテリーカバーを本体下側から上に向けてスライドさせるようにして取り付けます。



### ③ バッテリーカバー固定ネジを取り付ける

取り外したT6ネジを下図のように取り付けます。



※ **本製品にT6ドライバーは付属しません。**

#### ※ 注意

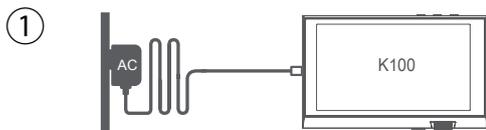
1. バッテリーを取り付ける際は極性を確認し、必ず正しい向きで取り付けてください。
2. 取り付け可能なバッテリーは標準サイズの21700バッテリーのみです。  
バッテリーメーカーによっては21700としながら、サイズがわずかに大きいものがあります。  
必ず取り付け可能な実寸を確認してください。
3. 保護回路付きの21700バッテリーは使用しないでください。

#### ※ 取り付け可能な21700バッテリーの仕様

1. 寸法: 21.00mm x 70.00mm
2. 保護回路: なし
3. 充電: 可能

## 本機の充電と電源の管理

本機を充電するには以下の2通りの方法があります。

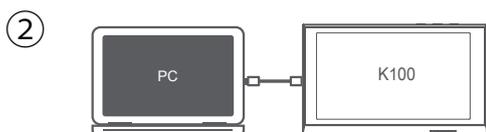


### ① ACアダプターを使用して充電

市販のスマートフォン用の5V/2A、または5V/2Aと9V/1.67A兼用のUSB電源アダプターと付属のType-C USBケーブルで本機と接続して充電します。

#### ※注意

9V/1.67Aのみ対応のアダプターには対応していません。  
絶対に使用しないでください。



### ② パソコンを使用して充電

パソコンと付属のType-C USBケーブルで本機と接続して充電します。

#### ※注意

パソコンのUSBポートの電流は500mAのため、本機を充電するための十分な電流が得られません。  
本機の充電にはUSB Type-C (5V/2A)対応のACアダプターのご利用を推奨します。

## 電源の管理

1. バッテリーの消耗を防ぐために、一定時間ボタン操作をしないときは、自動的に画面が消えます。電源ボタンを短く押すと画面が表示されます。
2. 一時停止の状態でも一定時間経過すると本機はサスペンションモードに移行します。サスペンションモードではハイバネーション機能を有効にしバッテリーの消耗を極力抑えることで約4週間バッテリーを持たせることができます。(ディープスリープ)

### ※ 重要! 必ず読んでください。[電源管理及び充電時のご注意]

1. 本機を充電するには必ず製品付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。市販の規格外のUSB Type-Cケーブルを使用すると充電ができない場合や誤動作および充電効率が落ちることがあります。
2. 市販の5V/2A USB Type-C用の電源アダプターを使用して充電する場合、完全に充電されるまで約4時間かかります(本機が完全に放電していて電源OFFの状態)。
3. デスクトップパソコンに接続して充電する場合、USB Type-Cケーブルは必ずパソコン背面のUSB端子に直接接続してください。パソコン前面のUSB端子やUSBハブに接続した場合や、パソコンがスリープモードになっている場合には電力の供給が不安定になり本機を接続しても充電できない場合があります。
4. 初めて使う場合や、長期間使用しなかった場合には完全に充電してから使用してください。
5. 放充電を重ねるとバッテリーの容量は少しずつ低下し、使用できる時間は徐々に短くなります。
6. 市販の充電用バッテリーパックを使って充電する場合は鞆などの密閉された場所で充電しないでください。過熱などで故障の原因になります。必ず開放された空間で充電してください。

## Windowsパソコンとの接続と取り外し

1. 付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンと本機のUSB端子を接続します。  
(本機の電源が入っていない状態でパソコンに接続した場合は、本機の画面に充電中のアイコンが表示され、充電が開始されます。)
2. 本機の電源が入った状態でパソコンに接続すると、パソコンでは内部ストレージと外部ストレージ(MicroSDカード)がMTPデバイスとして認識され、パソコンからファイルのコピーや削除ができるようになります。
3. ファイルのコピーが完了したらWindowsのシステムトレイにあるUSBデバイスの安全な取り出し  をクリックして安全に取り出してください。
4. ファイルのコピーが完了していることと、システムトレイの安全な取り出しアイコンにK100が表示されていないことを確認してからUSBケーブル本機とパソコンから外してください。

**※ 重要! 必ず読んでください。**

### 付属のUSB Type-C ケーブルでパソコンと本機を接続する場合の注意事項

1. 付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンと本機を接続した場合、本機の電源状態により以下のいずれかのモードで動作します。
  - 1) 本機の電源がオフの状態でUSB接続: 充電モード
  - 2) 本機の電源がオンの状態でUSB接続: 充電およびファイル操作モード(Android MTPデバイス)
2. 上記1のどちらのモードでも本機の充電効率と安定性の確保のため音楽再生はできません。  
ただしUSB DACモードで接続された場合はUSB DACとして音楽再生できます。
3. 充電をしながら本機で音楽を再生するには、市販の5V/2A USB電源アダプターを使用してください。  
本機を充電しながら音楽を再生することができます。ただし、充電しながらの再生はバッテリーの負荷が大きくなり、通常より劣化が進行する可能性がありますので、ご注意ください。
4. ご使用のパソコンやOSによってファイルのコピーにかかる時間が異なる場合があります。
5. ファイル/フォルダーのコピー中にUSBケーブルを取り外すと、内部ストレージやMicroSDカードが破損する場合があります。ファイルのコピー中には絶対にUSBケーブルを取り外したり、パソコンの電源を切ったりしないでください。

# Macとの接続と取り外し

1. Macと接続する場合は下記URLからGoogle提供の“Android File Transfer”を使用します。

ダウンロードURL: <https://www.android.com/filetransfer/>

“DOWNLOAD NOW”をクリックすると“androidfiletransfer.dmg”がダウンロードされます。

ダウンロード完了後にファイルをダブルクリックしてアプリをアプリケーションフォルダにコピーします。



Android File Transfer をコピー



Android File Transfer でK100を参照

2. 本機の電源を入れてから付属のUSB Type-CケーブルでMacと本機のUSB端子を接続すると自動的にAndroid File Transfer アプリが起動して、本機の内部ストレージ内のフォルダが表示されます。メニューバーにある「内部ストレージ」、「SDカード」をクリックして参照したいストレージを選択できます。Finderからコピーしたいファイル/フォルダを宛先のフォルダにドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。コピー可能なファイルのサイズは4GBまでです。
3. ファイルのコピーが完了したら“Android File Transfer”アプリを終了して本機からUSBケーブルを取り外します。

## ※ 重要! 必ず読んでください。

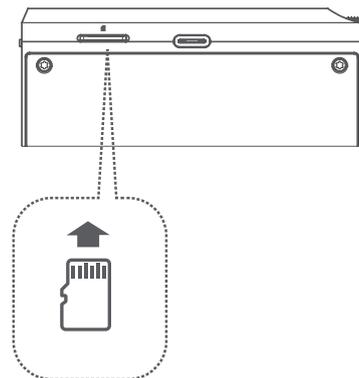
### 付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンと本機を接続する場合の注意事項

1. 付属のUSB TypeケーブルでMacと本機を接続した場合は本機の電源状態により以下のいずれかのモードで動作します。
  - 1) 本機の電源がオフの状態でのUSB接続: 充電モード
  - 2) 本機の電源がオンの状態でUSB接続: 充電およびファイル操作モード(Android MTPデバイス)
2. 上記1のどちらのモードでも本機の充電効率と安定性の確保のため音楽再生はできません。ただしUSB DACモードで接続された場合はUSB DACとして音楽再生できます。
3. 充電をしながら本機で音楽を再生するには、市販の5V/2A USB電源アダプターを使用してください。本機を充電しながら音楽を再生することができます。ただし、充電しながらの再生はバッテリーの負荷が大きくなり、通常より劣化が進行する可能性がありますので、ご注意ください。
4. ご使用のMacによってファイルのコピーにかかる時間が異なる場合があります。
5. ファイル/フォルダのコピー中にUSBケーブルを取り外すと、内部ストレージやMicroSDカードが破損する場合があります。ファイルのコピー中には絶対にUSBケーブルを取り外したり、パソコンの電源を切ったりしないでください。

## MicroSDカードの挿入と取り出し

MicroSDカードスロット

1. MicroSDカードの挿入/取り外しは必ず本機の電源を切ってから行ってください。
2. MicroSDカードを図の方向に軽く押し込んで挿入します。スロット内のMicroSDカードを軽く奥に押し込むとスロットから取り出すことができます。
3. 正しくない方向で無理にMicroSDカードをスロットに挿入するとMicroSDカードと本機のスロットが破損する場合がありますので挿入方向にはご注意ください。



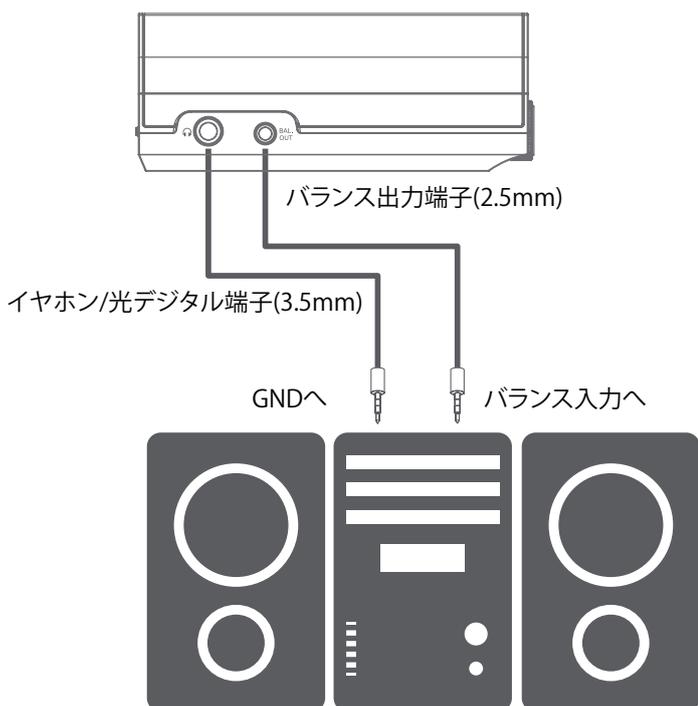
### 注意:

SDカードのスキャン中にSDカードを取り外した場合等、SDカードが正しく取り外されなかった場合に内部のデータベースに不整合が生じてフォルダやファイルが正しく表示されなくなる場合があります。そのような場合には「設定メニュー」→「初期化」→「DB初期化」を実行してください。

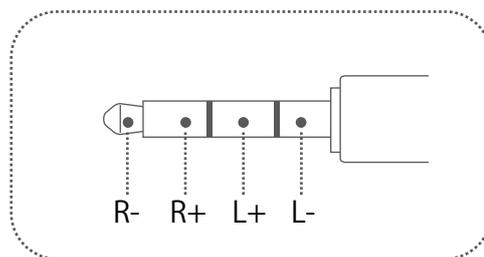
## イヤホン/光デジタル出力端子、バランス出力端子 (1)

### バランス入力がある機器との接続

バランス入力がある機器と接続する場合は、本機のバランス出力(2.5mm)を接続先のバランス入力端子に接続します。また、本機のイヤホン端子(3.5mm)を接続先のグラウンドに接続します。



2.5mm バランスケーブル ピンアサイン



## イヤホン/光デジタル出力端子、バランス出力端子 (2)

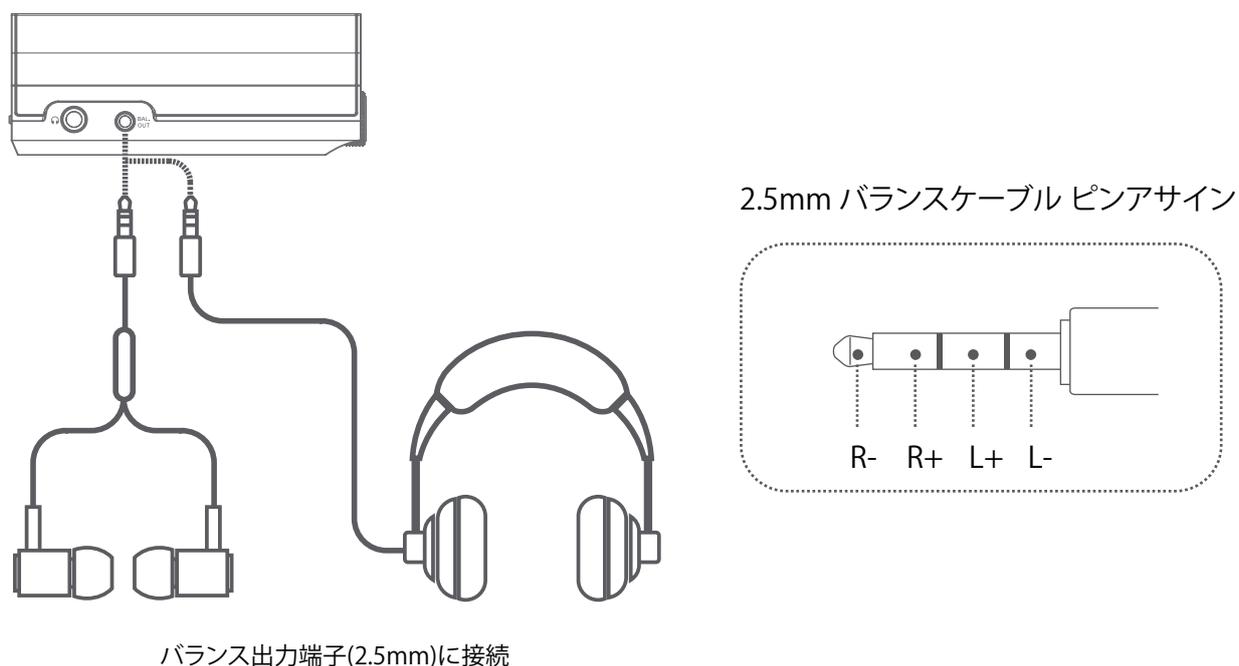
### アンバランスイヤホン/ヘッドホン、光デジタル入力のある機器との接続

1. 3.5mmのイヤホン、ヘッドホンは本機のイヤホン/光デジタル出力端子に接続します。
2. 光デジタル(SPDIF)入力のある機器とは光ケーブルでイヤホン/光デジタル出力端子に接続します。



### バランスイヤホン/ヘッドホンとの接続

- 2.5mmのバランスイヤホン/ヘッドホンは本機のバランス出力端子に接続します。



## ファームウェアの更新

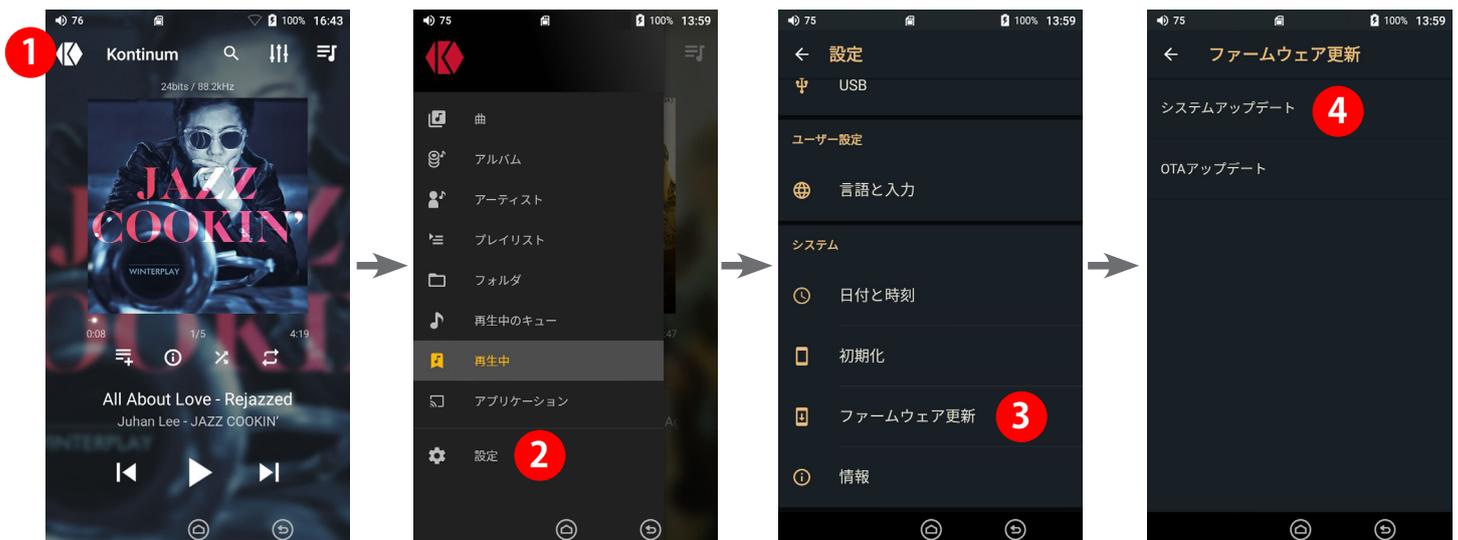
ファームウェアは本機に内部されているプログラムです。ファームウェアを更新することで継続して機能を追加したり動作上の問題を修正することができます。性能および機能向上のために製品の仕様および操作方法は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。ファームウェアは以下に続く2通りの方法で更新できます。

### ファームウェアの更新方法 (1) ファームウェアファイルで更新

ファームウェアファイルをパソコンでダウンロードして、本体に転送して更新する方法です。

※ K100は発売時点ではOTAでの更新のみとなります。「(2)OTAで更新」を参照してください。

1. Kontinum製品のホームページ(www.kontinumlimited.com)の"Support"の"Download"ページに移動し、ファームウェアファイルをダウンロードします。zip等で圧縮されている場合は解凍してupdate.packファイルを取り出しておきます。
2. 本機の電源を入れてから付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンと接続します。
3. ダウンロードした最新のファームウェアファイル(update.pack)を本機の内部ストレージまたはMicroSDカードの最上位フォルダ(ルートディレクトリ)にコピーします。その他の場所にコピーした場合、ファイルが認識されませんのでご注意ください。
4. ファイルのコピーが完了したらUSB Type-Cケーブルを取り外します。
5. 本機の画面左上にある  アイコンをタップしてメニューを表示します。 **1**
6. メニューの「設定」をタップして設定メニューを開きます。 **2**
7. 設定メニューを下にスクロールして「ファームウェア更新」をタップして選びます。 **3**
8. 「システムアップデート」をタップします。 **4**
9. アップデートの確認画面で「OK」を選択すると本機が再起動してファームウェアの更新が始まります。



10. ファームウェアの更新が完了すると本機が自動的に再起動します。起動後に設定メニューの「システム情報」の「バージョン」でバージョン情報を確認することができます。

※ ファームウェアの更新には800MB以上の空き容量が内部ストレージに必要です。内部ストレージに十分な空き容量があることを確認してください。十分な空き容量がない場合はファームウェアの更新を行うことができません。

※ ファームウェアの更新は必ずUSB電源アダプターに接続しているか、バッテリーの残量が50%以上残っている状態であることを確認してから行ってください。

## ファームウェアの更新方法 (2) OTAで更新

ファームウェアファイルを本機に直接ダウンロードして更新する方法です。

1. 前ページの手順で設定メニューから「ファームウェア更新」を選択します。
2. 「OTAアップデート」を選択します。①
3. 確認ウィンドウが表示するので「今すぐ確認」を選択して新しいファームウェアがあるかどうか確認します。②
4. 現在のファームウェアよりも新しいファームウェアがある場合はファームウェアのダウンロードが自動的に開始されます。
5. ファームウェアのダウンロードが完了したら「アップデート」をタップすると本機が再起動してファームウェアの更新が開始されます。③  
ファームウェアの更新が完了すると本機が自動的に再起動します。起動後に設定メニューの「システム情報」の「バージョン」でバージョン情報を確認することができます。
6. 「スケジュールされた確認」が有効になっている場合は指定された間隔毎に新しいファームウェアがあるかどうかを確認します。(アップデートの確認は本機がネットワーク接続された状態になると自動で行われます。)



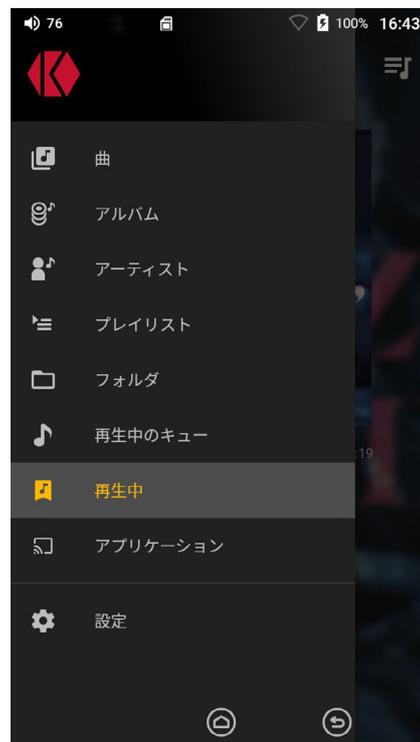
※ ファームウェアの更新には800MB以上の空き容量が内部ストレージに必要です。内部ストレージに十分な空き容量があることを確認してください。十分な空き容量がない場合はファームウェアの更新を行うことができません。

※ ファームウェアの更新は必ずUSB電源アダプターに接続しているか、バッテリーの残量が50%以上残っている状態であることを確認してから行ってください。

## 2. 基本的な使い方

### ホーム画面と再生画面

ホーム画面と再生画面の各部の機能は下記の通りです。



- 1 メニューが表示されます。メニューから曲、アルバム、アーティスト、プレイリスト、フォルダ、再生中のキュー、アプリケーションにアクセスできます。画面の左端を右側にドラッグしてもメニューを表示できます。
- 2 ステータスバーには現在の動作状況が表示されます。ステータスバーを下にスワイプするとクイック設定メニューが表示され、Wi-Fi、Bluetooth、画面の回転、ラインアウト、イコライザー、スリープ、ゲインコントロールを設定できます。
- 3 検索モードになります。
- 4 イコライザー設定画面が開きます。
- 5 再生中のキューの一覧が表示されます。
- 6 プレイリストに追加することができます。
- 7 ファイルの情報を表示します。
- 8 シャッフルモードのオン・オフを設定できます。
- 9 リピートモードの設定を変更できます。
- 10 前の曲を再生します。
- 11 現在の曲を一時停止・再生します。
- 12 次の曲を再生します。
- 13 ホーム画面に戻ります。
- 14 現在のモードを抜けて前の画面に戻ります。
- 15 アルバムアートワークを左右にドラッグすると次の曲、前の曲にスキップできます。

※アルバムアートワークがない曲はプリセットされているイメージがランダムに表示されます。

## クイック設定画面

ステータスバーを下方方向にドラッグするとクイック設定画面が開きます。表示主要な機能のオン・オフを変更することができます。クイック設定画面で変更可能な機能はすべて設定メニューからも変更することができます。



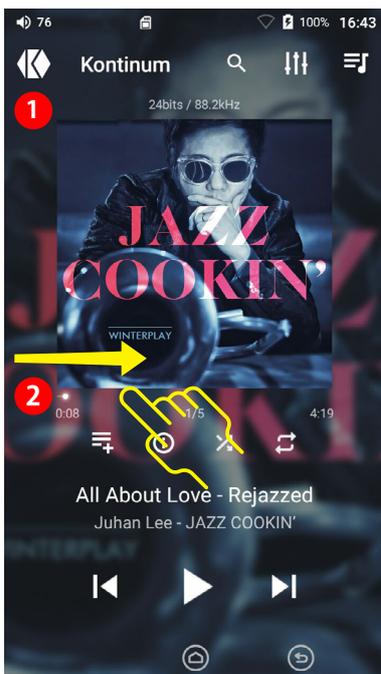
すべての設定項目はタップするだけで機能のオン・オフを切り替えることができます。機能がオフの場合はアイコンがグレーで表示されます。機能がオンの場合はアイコンが黄色く表示されます。

## ステータスバーについて



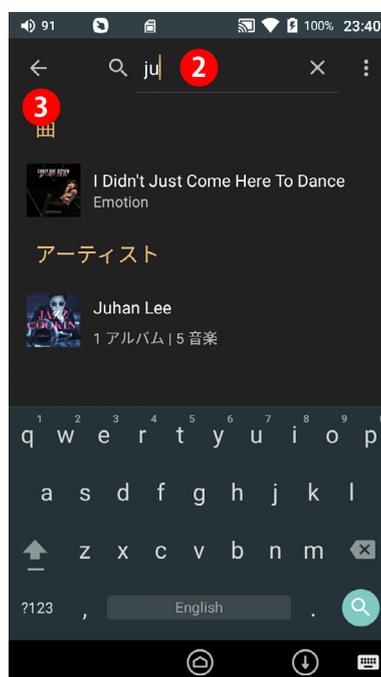
-  現在のボリュームが表示されます。ボリュームは0~150の範囲で調整できます。
-  MicroSDカードのスキャン中、データベースの生成中、ファイルの読み込み中であることを表します。MicroSDカードの容量や保存されているファイル数によって処理時間が長くなる場合があります。
-  SDカードが挿入されていることを表します。SDカードが挿入されていない場合はアイコンは表示されません。
-  ラインアウト出力の設定状態が表示されます。
-  イコライザー(EQ)が有効になっていることを表します。
-  スリープタイマーが有効であることを表します。
-  Bluetoothが有効になっている場合にアイコンが表示されます。
-  ワイヤレスネットワーク(Wi-Fi)が有効になっている場合にアイコンが表示されます。
-  バッテリーの充電状態と残量を表します。

## 再生画面 - メニュー表示



- 1  をタップするか、画面の左端を右側にドラッグすることでメニューを表示することができます。
- 2 メニューで「再生中」をタップすると再生画面に戻ります。

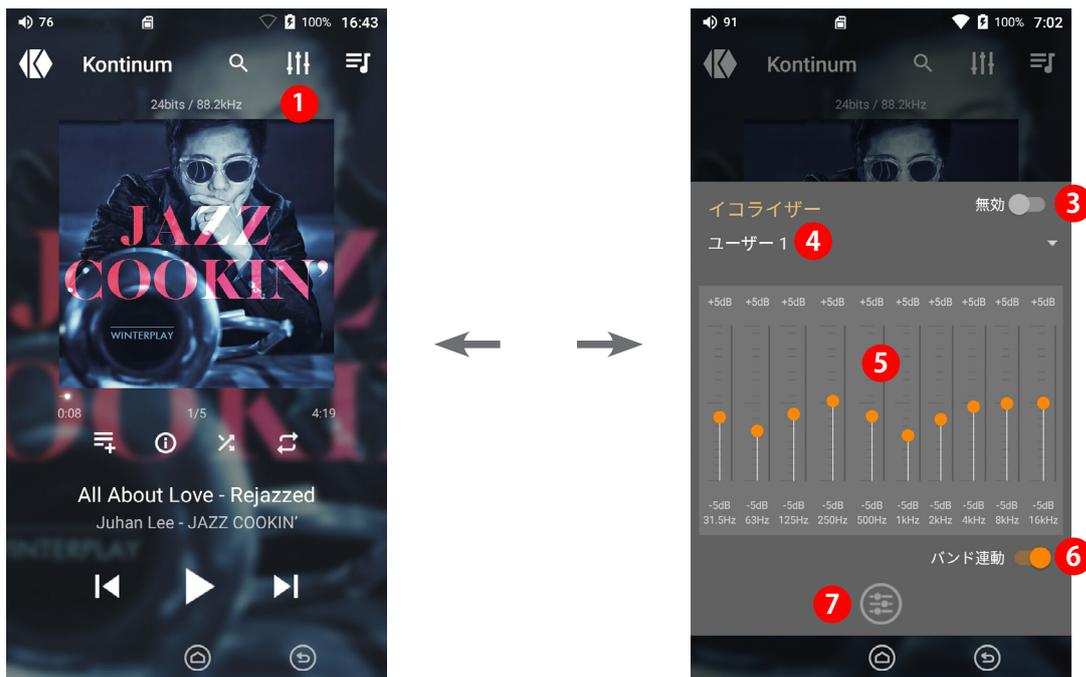
## 再生画面 - 検索モード



- 1  をタップして検索画面を開きます。
- 2 入力エリアに検索したい曲名またはアーティスト名を入力します。
- 3  をタップすると再生画面に戻ります。

※「言語と入力」の設定により本機にプリインストールされているオープンソースの日本語入力(IME)、および日本語キーボードを選択することは可能ですが、それらを使用した日本語入力について、動作保証はしておりません。日本語入力のご利用はご自身の判断で行ってください。

## 再生画面 - イコライザー設定



- 1 をタップしてイコライザー設定画面を開きます。
- 2 または をタップすると再生画面に戻ります。
- 3 イコライザーの「有効」、「無効」をスライダースイッチで切り替えることができます。
- 4 「ユーザー1」と表示されている部分をタップするとカスタムイコライザーを選択できます。カスタムイコライザーは「ユーザー1」から「ユーザー5」まで5つまで保存できます。
- 5 スライダーバーを上下に調整してお好みの値に設定します。
- 6 「バンド連動」を有効にすると調整したバンドの左右のバンドが連動して自動調整されます。
- 7 をタップすると現在の調整値がリセットされます。

### 注意

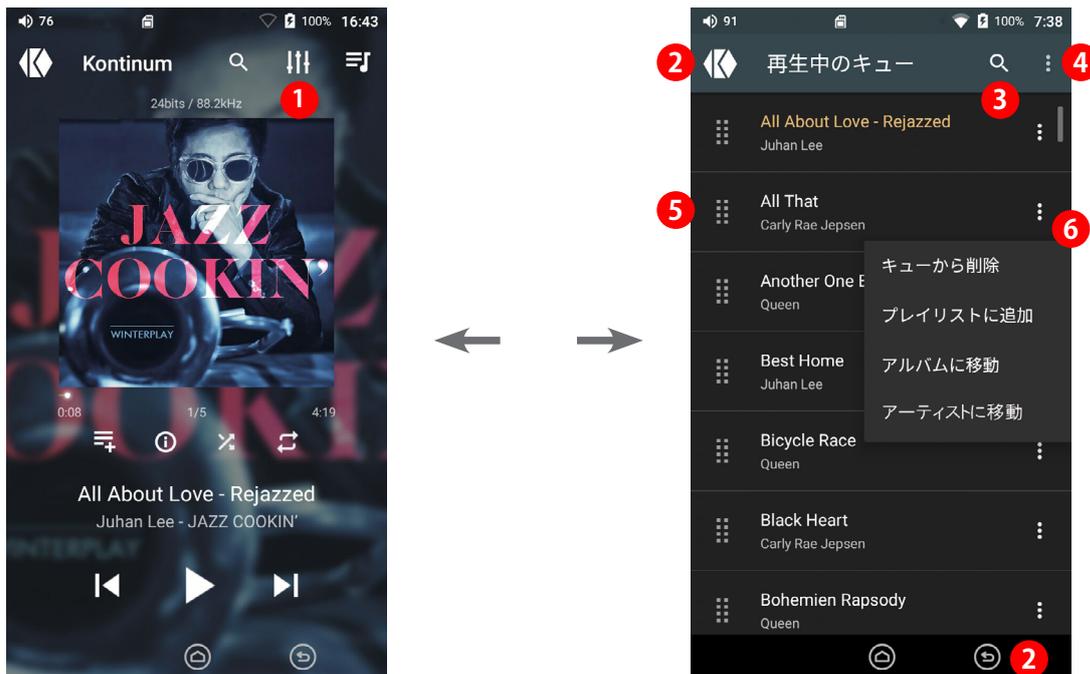
すべてのユーザー設定イコライザー（ユーザー1～ユーザー5）で、31.5Hz、63Hz、125Hz、250Hz、500Hz、1kHz、2kHz、4kHz、8kHz、16kHzの値を調整できます。

ユーザー設定イコライザーの工場出荷時の初期値はすべて0dbに設定されています。

イコライザーの状態が有効/無効に関わらず、ユーザー1、2、3、4、5が同じ値に調整されている場合、イコライザーのエフェクトに違いはありません。

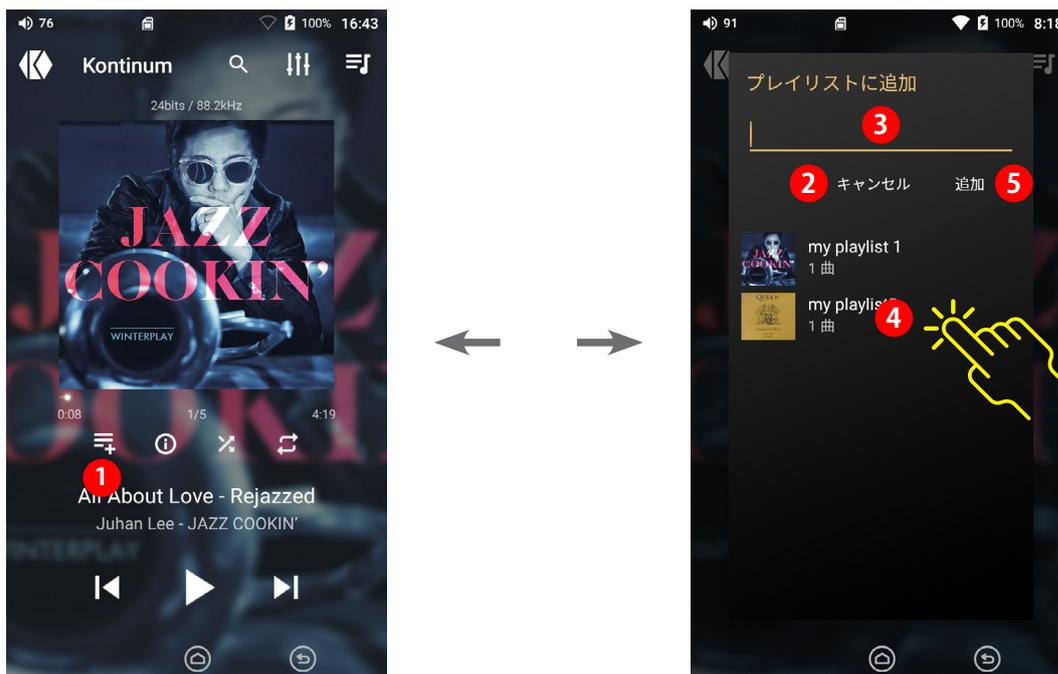
DSDの再生ではDSDフォーマットの特徴のためイコライザーは機能しません。

## 再生画面 - 再生中のキュー



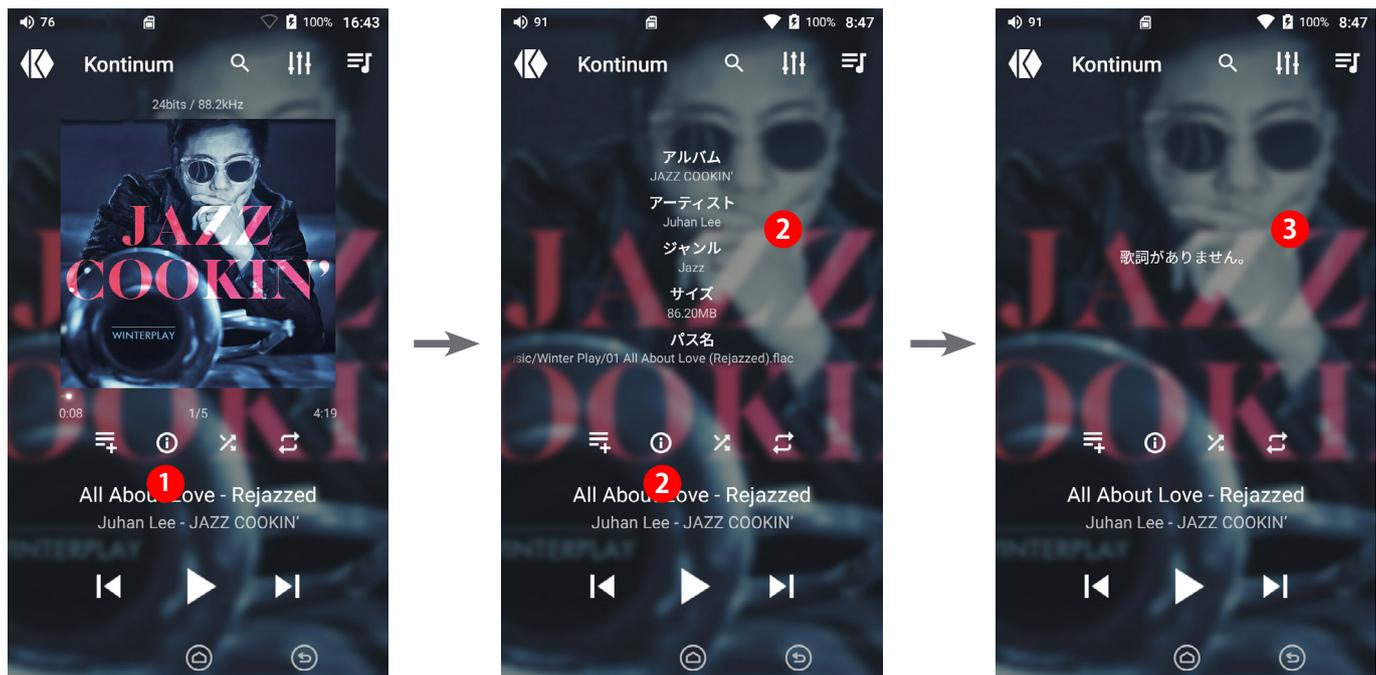
- 1 をタップして再生中のキューを操作する画面を開きます。
- 2 または をタップすると再生画面に戻ります。
- 3 をタップすると検索モードになります。
- 4 現在のキューをクリアする場合、 をタップして「キューの消去」を選択します。
- 5 再生する曲順を変更する場合は、変更したい曲の左側にある をドラッグして上下に移動します。
- 6 曲の右端にある をタップするとキュー画面での操作メニューが表示され、その曲をキューから削除するなど、下記の操作が可能です。
  - ・キューから削除：現在選択されている曲を再生キューから削除します。
  - ・プレイリストに追加：現在選択されている曲をプレイリストに追加します。
  - ・アルバムに移動：現在選択されている曲が含まれているアルバムライブラリに移動します。
  - ・アーティストに移動：現在選択されている曲のアーティストライブラリに移動します。

## 再生画面 - プレイリストに追加



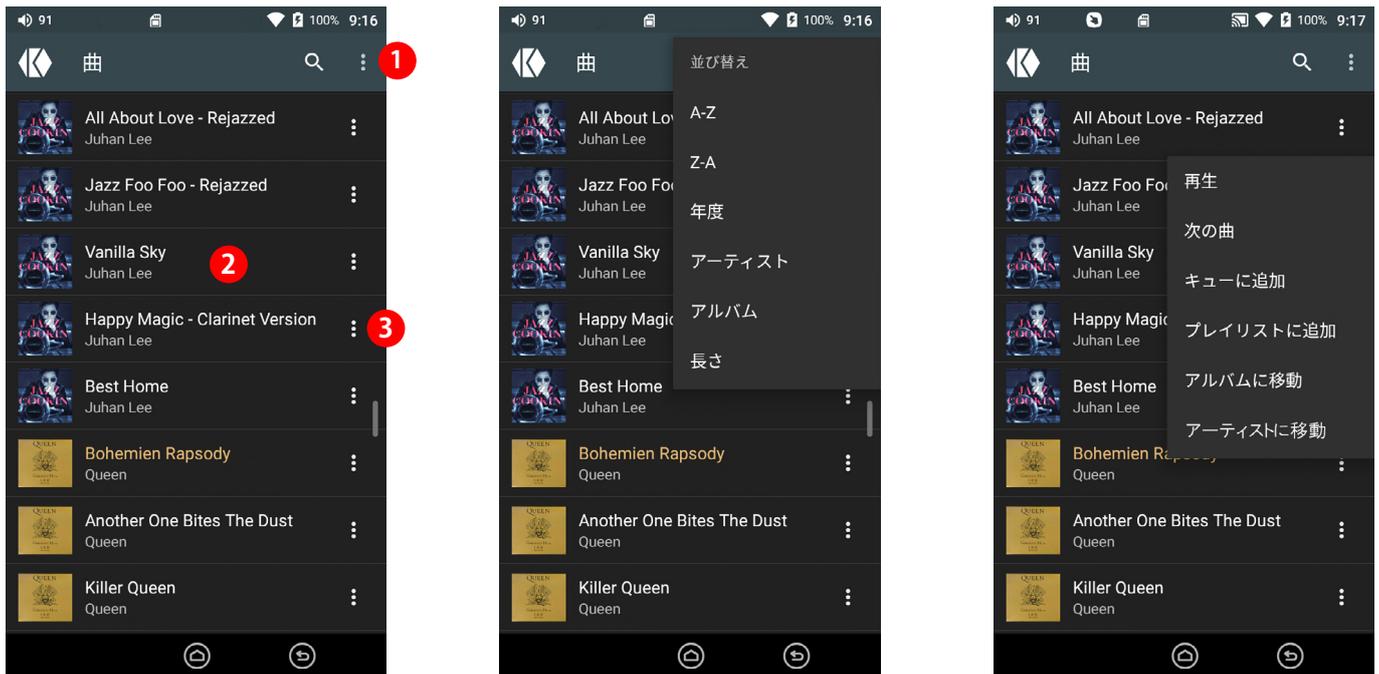
- 1  をタップして再生中の曲をプレイリストに追加することができます。
- 2 「キャンセル」を選択すると再生画面に戻ります。
- 3 新規のプレイリストを作る場合は、テキスト入力エリアにプレイリスト名を入力します。入力エリアをタップすると画面下部にキーボードが表示されます。
- 4 既存のプレイリストに追加する場合は、表示されているプレイリストの中から追加したいプレイリストをタップします。
- 5 「追加」を選択すると現在の曲がプレイリストに保存されます。

## 再生画面 - ファイル情報



- 1 **i** をタップするとファイルの情報 (アルバム、アーティスト、ジャンル、サイズ、ファイル名とパス) を確認できます。
- 2 ファイル情報を表示しているエリアか、**i** をタップすると歌詞が表示されます。ファイルに歌詞データがない場合は「歌詞がありません」と表示されます。
- 3 歌詞が表示されるエリアか、をタップするとアートワーク表示に戻ります。

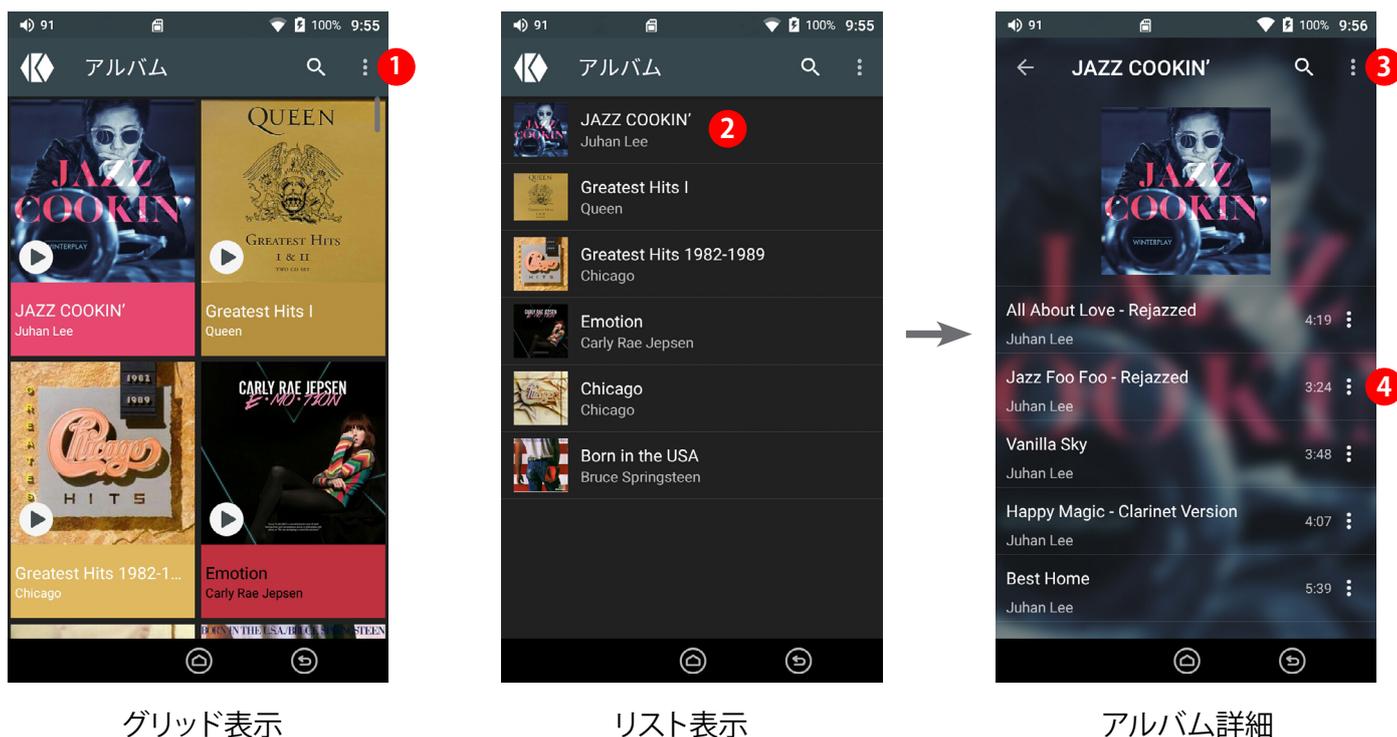
## ミュージックライブラリー 曲



- 1 ミュージックライブラリーの「曲」一覧では内部ストレージとSDカードにあるすべての曲が表示されます。右上にある **⋮** をタップすると曲の並び順を変更できます。変更可能な並び替えオプションは、A-Z、Z-A、年度ごと、アーティストごと、アルバムごと、曲の長さ順のいずれかです。
- 2 曲目をタップするとその曲の再生が開始され、再生画面に戻ります。
- 3 曲名の右端にある **⋮** をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。
  - ・アルバムに移動：現在選択されている曲が含まれているアルバムライブラリに移動します。
  - ・アーティストに移動：現在選択されている曲のアーティストライブラリに移動します。

※ アルバムアートワークがない曲のサムネイル表示は **🎵** となります。

## ミュージックライブラリー アルバム



グリッド表示

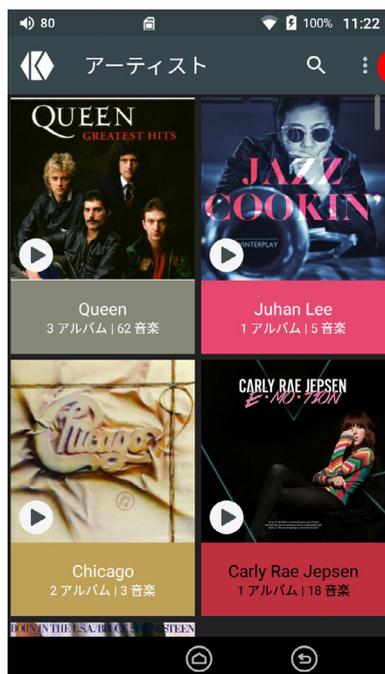
リスト表示

アルバム詳細

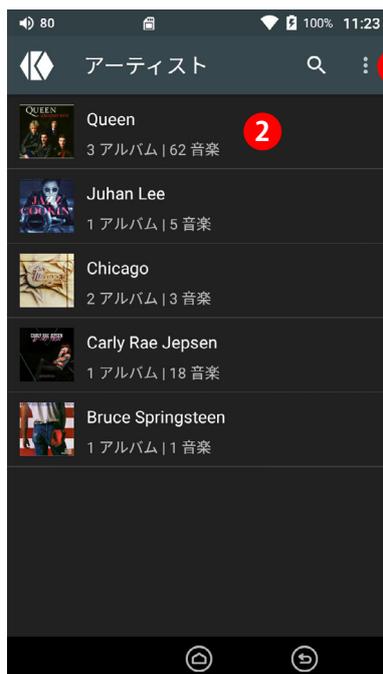
- 1 ミュージックライブラリーの「アルバム」一覧では内部ストレージとSDカードにあるすべてのアルバムが表示されます。右上にある  をタップするとアルバムの表示方法と並び替えの方法を変更でき、「設定」を選択するとシステム設定メニューを開くことができます。
- 2 アルバム名をタップすると、そのアルバム内のすべての曲のタイトルとアーティストが一覧表示されます。
- 3 画面右端にある  をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。
  - ・並び替え：アルバム内の曲の並び替えオプションメニューが表示され、並び替え方法を変更できます。
  - ・設定：システム設定メニューを開きます。
- 4 曲名の右端にある  をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。

※ アルバムアートワークがない曲のサムネイル表示は  となります。

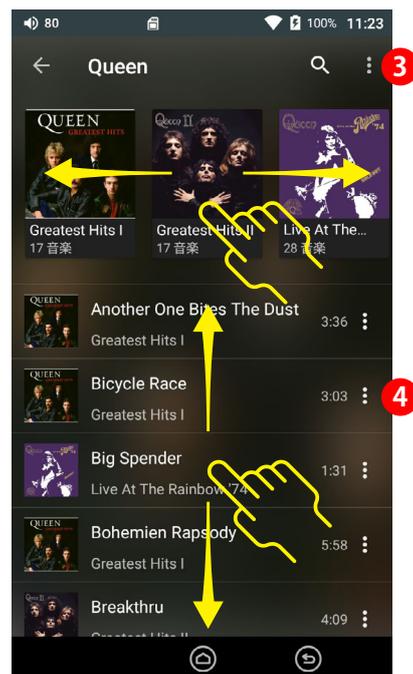
## ミュージックライブラリー アーティスト



グリッド表示



リスト表示

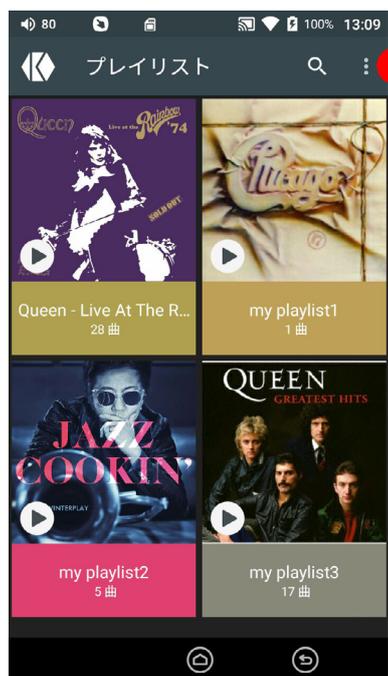


アーティスト詳細

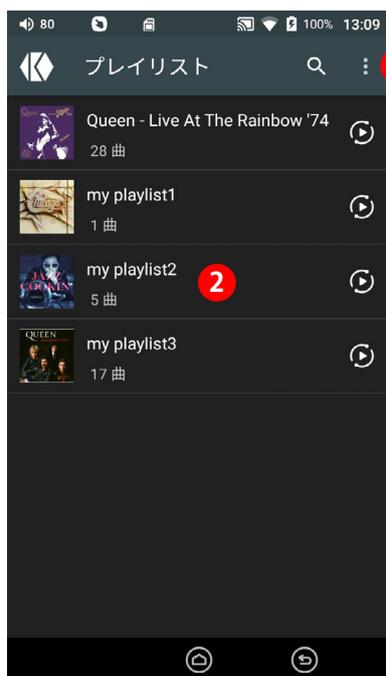
- 1 ミュージックライブラリーの「アーティスト」一覧では内部ストレージとSDカードにあるすべてのアーティストが表示されます。右上にある  をタップするとアーティスト一覧の表示方法と並び替えの方法を変更でき、「設定」を選択するとシステム設定メニューを開くことができます。
- 2 アーティスト名をタップすると、アーティストの全アルバムのアートワークが画面上部に表示され、その下にすべての曲のタイトルとアルバム名が一覧表示されます。アルバムアートワークを左右にスワイプしてアルバムを選択できます。また曲名を上下にスワイプしてリストをスクロールできます。
- 3 画面右端にある  をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。
  - ・並び替え：アルバム内の曲の並び替えオプションメニューが表示され、並び替え方法を変更できます。
  - ・設定：システム設定メニューを開きます。
- 4 曲名の右端にある  をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。

※ アルバムアートワークがない曲のサムネイル表示は  となります。

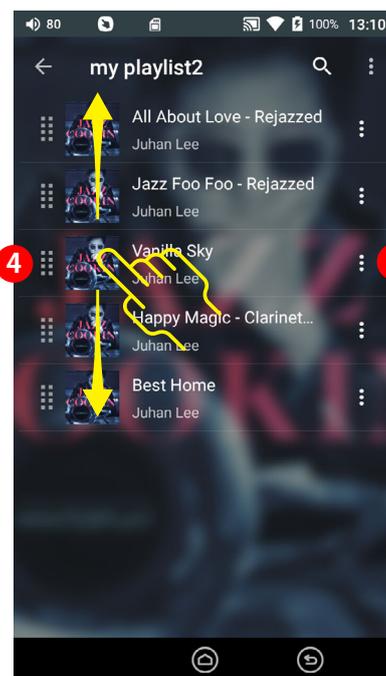
## ミュージックライブラリー プレイリスト



グリッド表示



リスト表示

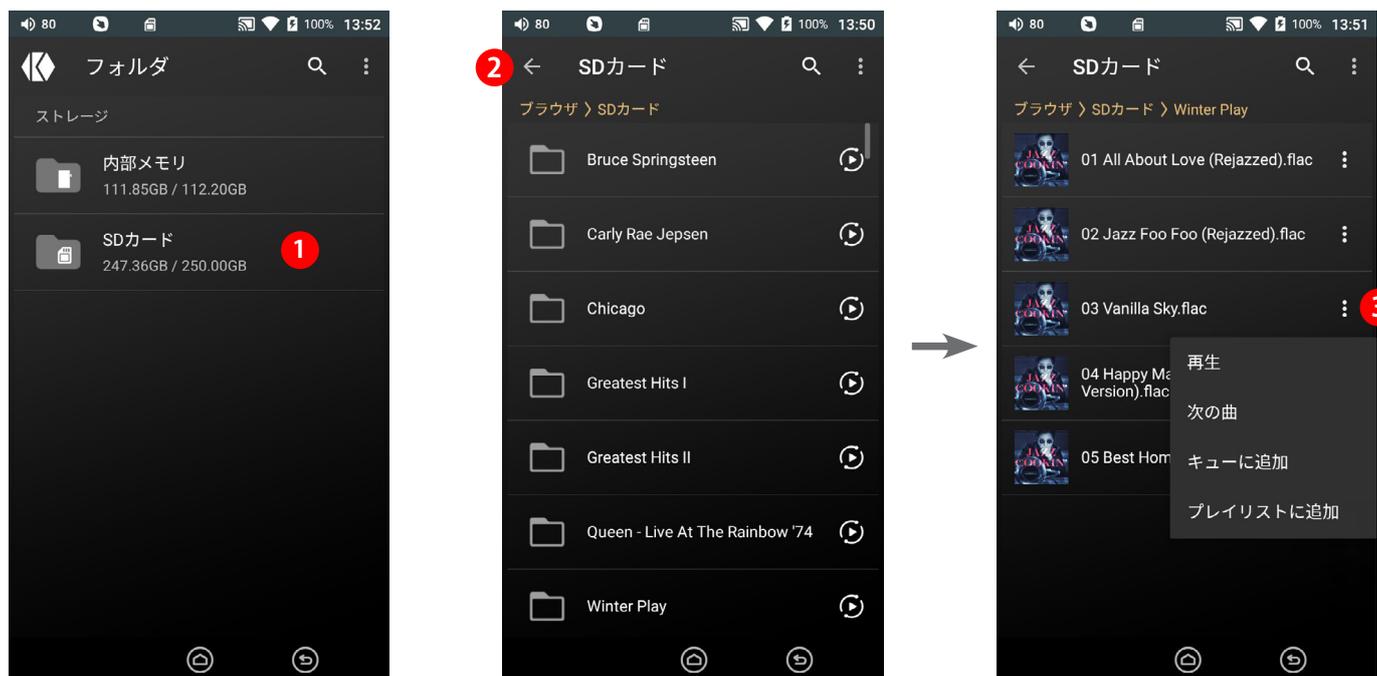


プレイリスト詳細

- 1 ミュージックライブラリーの「プレイリスト」一覧では、保存されているすべてのプレイリスト名が表示されます。右上にある  をタップするとプレイリスト一覧の表示方法と並び替えの方法を変更でき、「設定」を選択するとシステム設定メニューを開くことができます。
- 2 プレイリスト名をタップすると、プレイリスト内の全アルバムのアートワークが画面上部に表示され、プレイリスト内のすべての曲のタイトルとアーティスト名が一覧表示されます。曲を上下にスワイプするとリストをスクロールできます。
- 3 画面右端にある  をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・プレイリストから削除：選択された曲を現在のプレイリストから削除します。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
- 4 再生曲順を変更する場合は、曲名の左側にある  をドラッグして再生したい順番の位置まで移動します。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。

※ アルバムアートワークがない曲のサムネイル表示は  となります。

## ミュージックライブラリー フォルダ

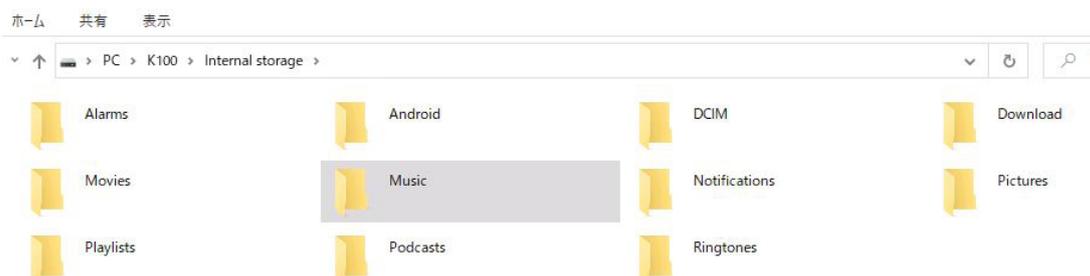


- 1 フォルダ一覧では内部ストレージとSDカードに保存されているフォルダ、ファイルを一覧表示します。フォルダ名をタップすると、そのフォルダ内のサブフォルダとファイルをリスト表示します。
- 2 画面左上の ◀ をタップすると一つ上の階層に戻ります。
- 3 画の右端にある ⋮ をタップするとオプションメニューが表示され、下記の操作が可能です。
  - ・再生：選択された曲を再生キューに追加し、再生を開始します。
  - ・次の曲：選択された曲を現在再生中のキューに、次に再生する曲として追加します。
  - ・キューに追加：選択された曲を現在再生中のキューの最後に追加します。
  - ・プレイリストに追加：選択された曲をプレイリストに追加します。

※ アルバムアートワークがない曲のサムネイル表示は となります。

### 注意

本機の内部ストレージに楽曲ファイルをコピーする場合は、MUSICフォルダ内にコピーしてください。MUSICフォルダがデフォルトの楽曲ファイルの保存先となっています。本機はMUSICフォルダ内のファイルをスキャンしてリストに表示します。



### 3. 他社製アプリのインストールとアンインストール方法

K100は内部処理や設計の自由度を高め、より優れた音質や操作性を追及するため、オープンソースとしてAndoridを採用し、専用仕様としています。そのためGoogle Playストアには対応しておりません。また、一般のアンドロイド端末の様に常時ネットワーク接続(回線接続を含む)を前提とした仕様ではありません。そのためOSの機能は制限され、音楽プレイヤーに特化したものとなっています。

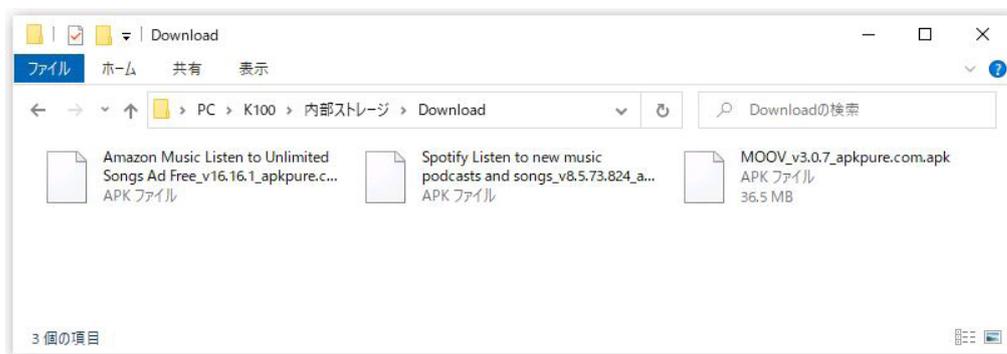
他社製アプリについては、動作保証はいたしておりません。他社製のアプリを本機で使用すると、機能が制限される場合があります。アプリをインストールする場合すべて自己責任となり、他社製アプリをインストールしたことに起因する、いかなる不具合や損失等に対して当社は責任を負いません。他社製アプリをインストールして、K100の動作が不安定になったり、正常な操作ができなくなった場合には他社製アプリをアンインストールするか、K100を出荷時の状態に初期化してください(出荷時の状態に初期化した場合、インストールしたアプリはすべて消去されますので再インストールする必要があります。)他社製アプリは将来的にサービスやサポートが終了する場合があります、将来にわたってご利用を保証するものではありません。また、APK形式のすべてのアプリの動作やサービスを保証するものではありません。

音楽プレイヤーに特化した仕様ですので、パスワードロックなどのセキュリティはございません。紛失時や貸与時などに問題となるような、ブラウザをはじめとするパスワードを記憶をするアプリなどのインストールはご注意ください。また、出自不明なAPKアプリや個人情報などを扱うアプリのインストール及びそれに伴うネットワーク接続は、一般のアンドロイド端末同様危険が伴う場合がございますので絶対におやめください(機器の安定の面からもアプリのインストールは必要最小限をお奨めします)。これらによるいかなる損害も補償いたしません。

#### 他社製アプリのインストール方法

(1) 曲の転送と同様に、K100を付属のUSB Type-Cケーブルでパソコンに接続して、下記のフォルダにapkファイルをコピーしてください。他のフォルダにコピーしてもアプリとして認識されません。

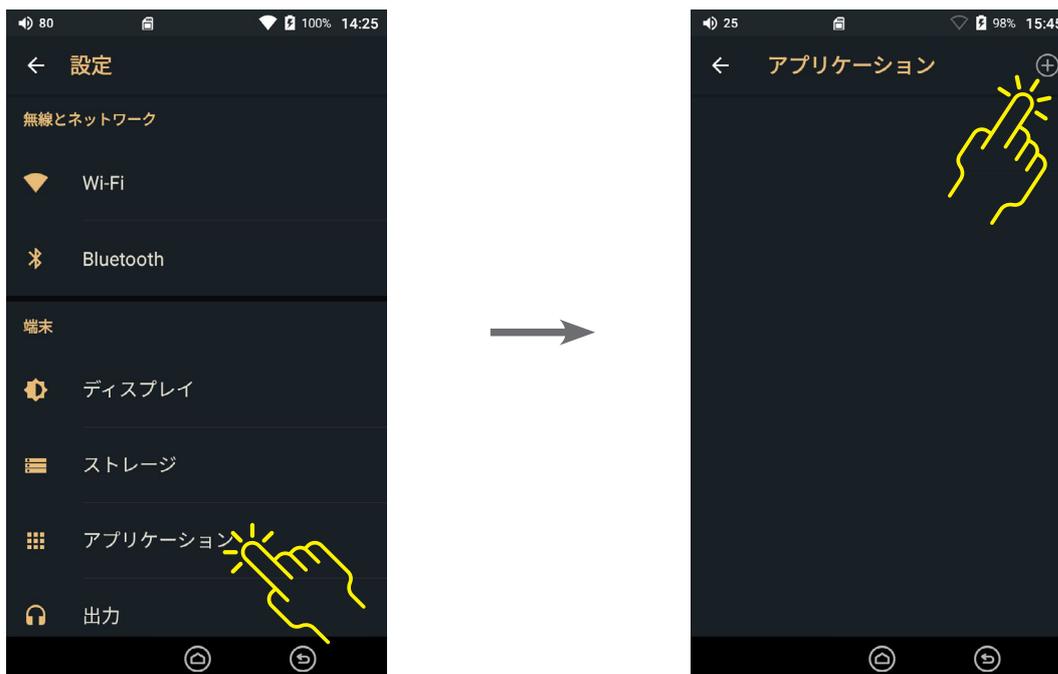
apkファイルの保存先: 内部ストレージ/Download



**注意: インストール可能なファイルはAPKのみです。XAPKファイルは対応していません。**

(2) コピーが完了したらUSB Type-CをK100から取り外してください。

(3) 「設定」メニューを開き、「アプリケーション」を選択し、画面右上の + をタップします。



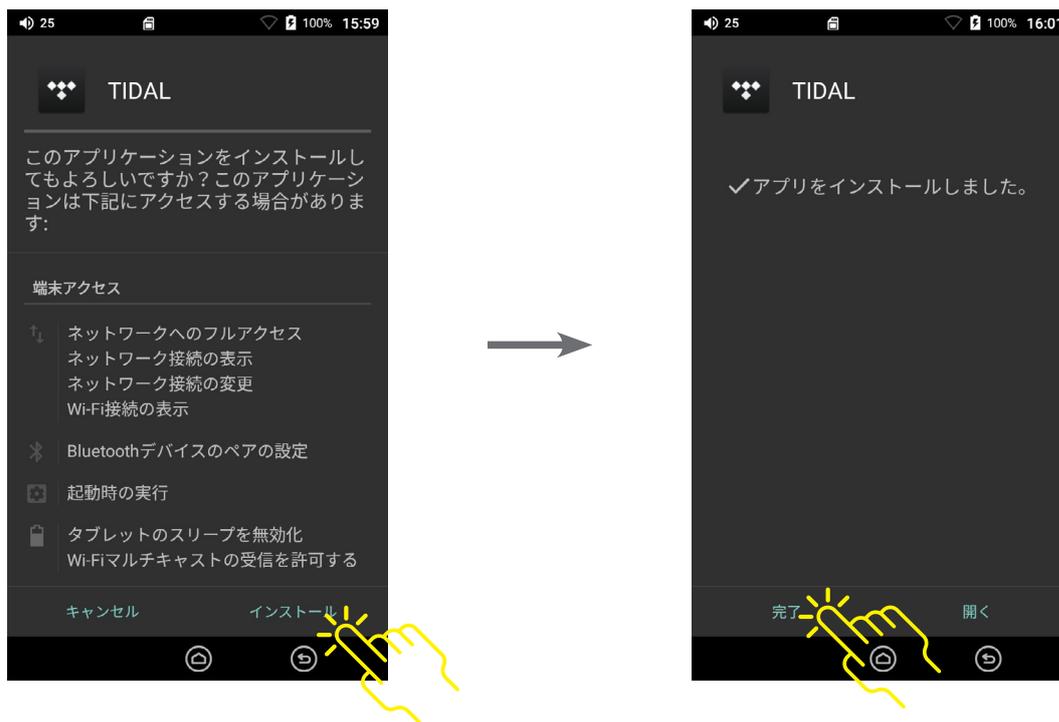
(4) Downloadフォルダ内にコピーされたアプリが一覧表示されます。

(5) インストールしたいAPKファイルをタップして選択します。

(6) アプリのアクセス権に関する内容を確認して「次へ」を選択します。



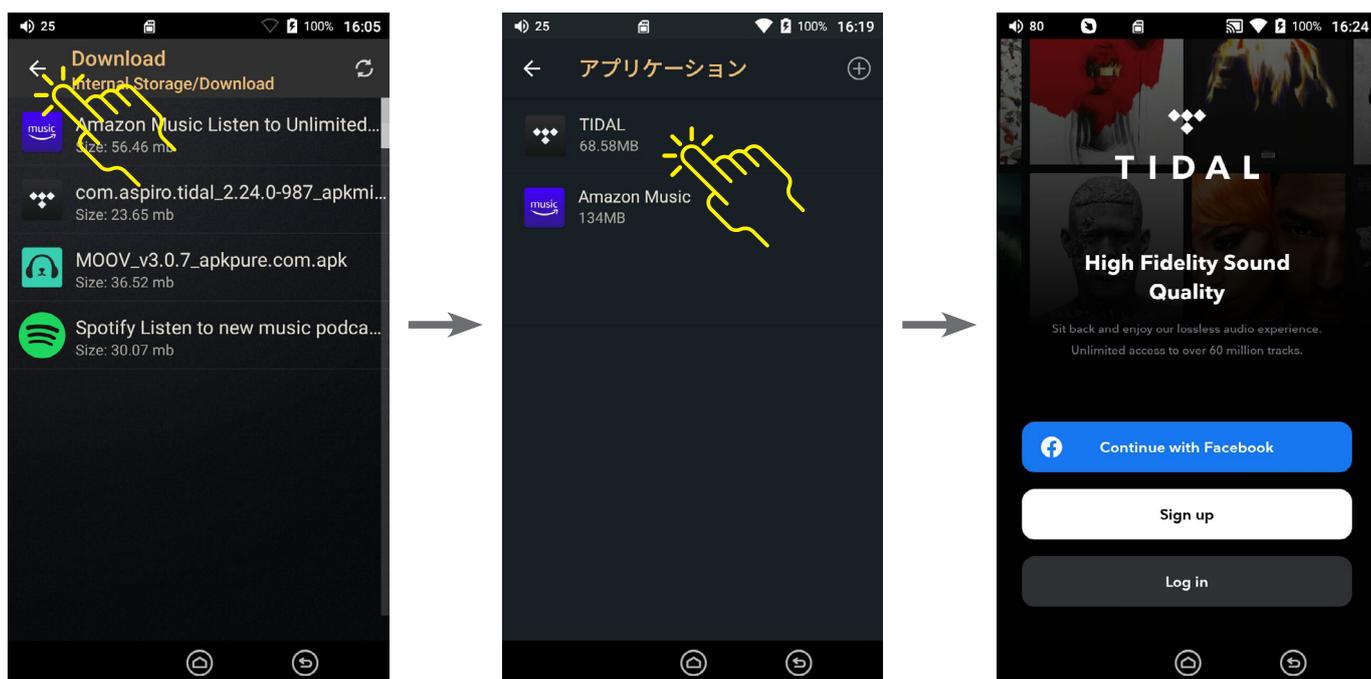
(7) すべての内容を確認してインストールを開始するには「インストール」を選択します。



(8) アプリのインストールが完了したら「完了」を選択します。この画面では「開く」を選択しないでください。

(9) 画面左上の ← をタップしてアプリケーションの設定画面に戻ります。

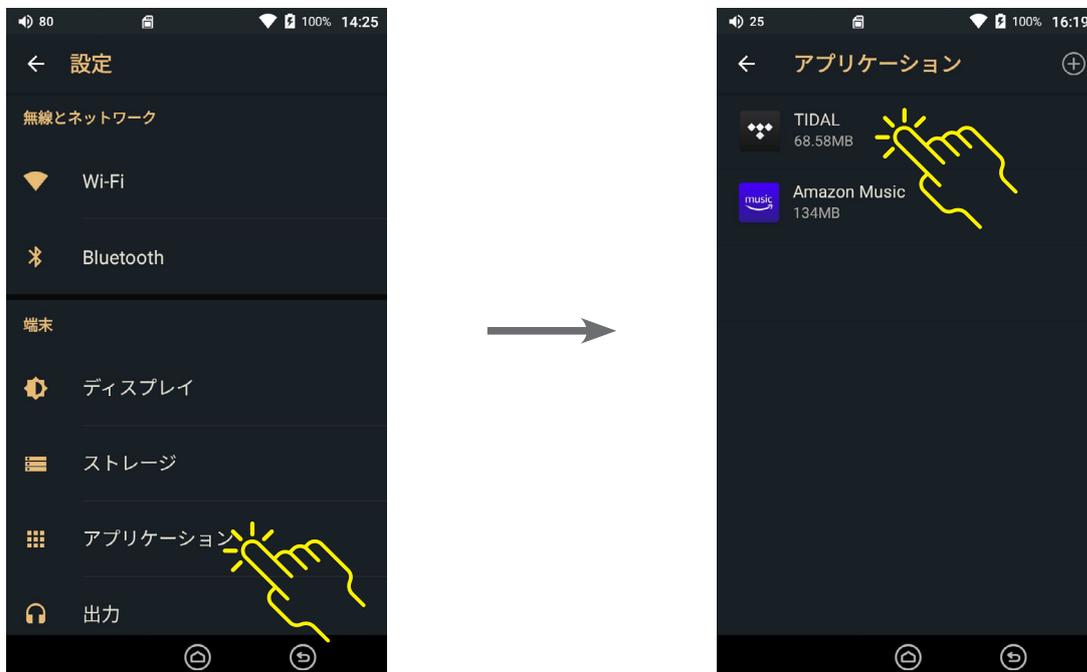
(10) インストールされているアプリの一覧が表示されます。



## 他社製アプリのアンインストール方法

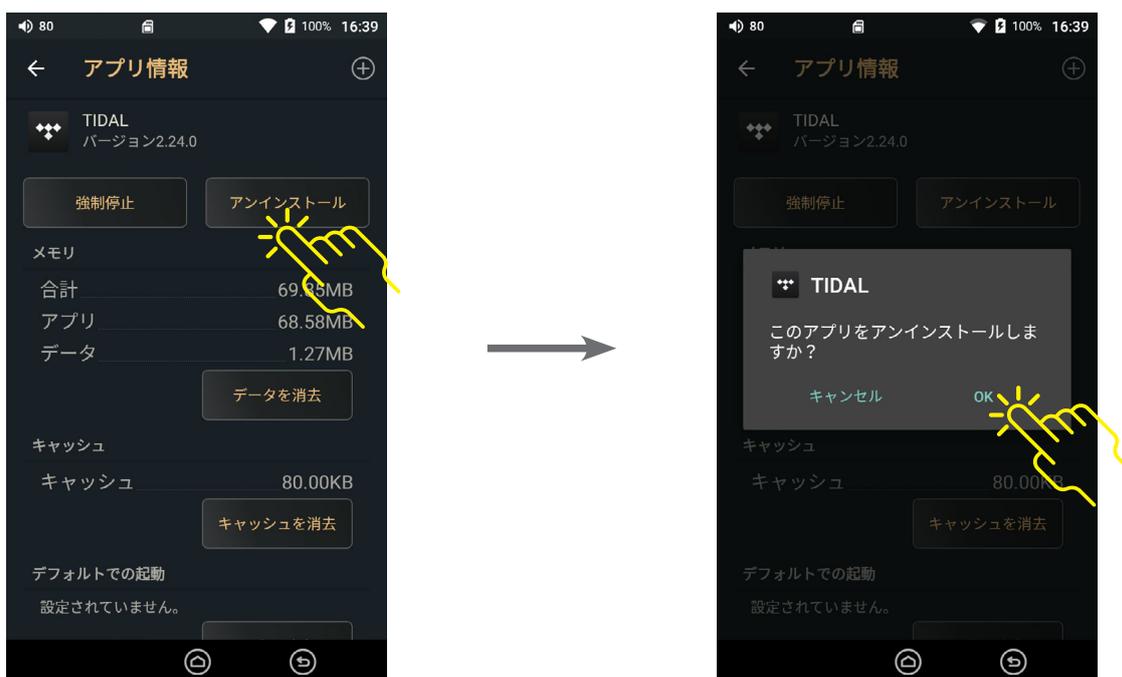
(1) 「設定」メニューを開き、「アプリケーション」を選択し、インストール済みアプリの一覧を表示します。

(2) アンインストールしたいアプリ名の部分を長押しします。



(3) アプリ情報画面で「アンインストール」を選択します。

(4) アンインストールの確認メッセージが表示されるので「OK」を選択します。



「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示され、アプリのアンインストールは完了です。

## 4. 設定メニュー

システムの「設定」メニューは以下の2通りの方法で開くことができます。



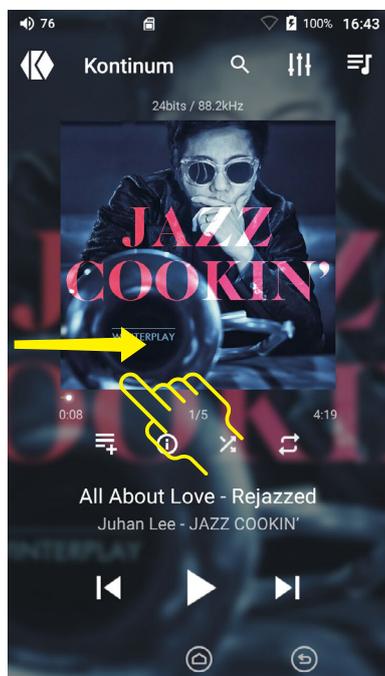
ステータスバーをすばやく下にスワイプします。



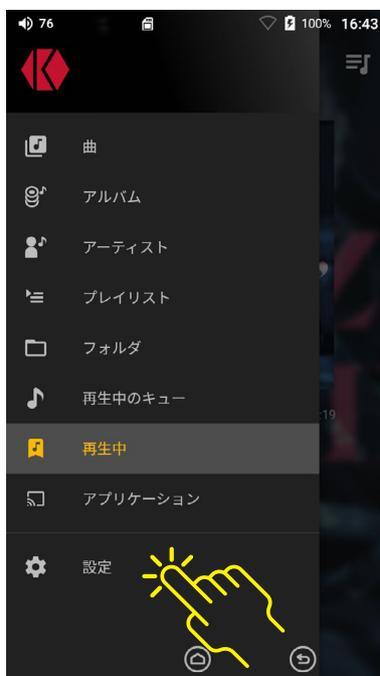
画面右上にあるアイコンをタップします。



設定メニューが開きます。



画面左端を右にスワイプします。



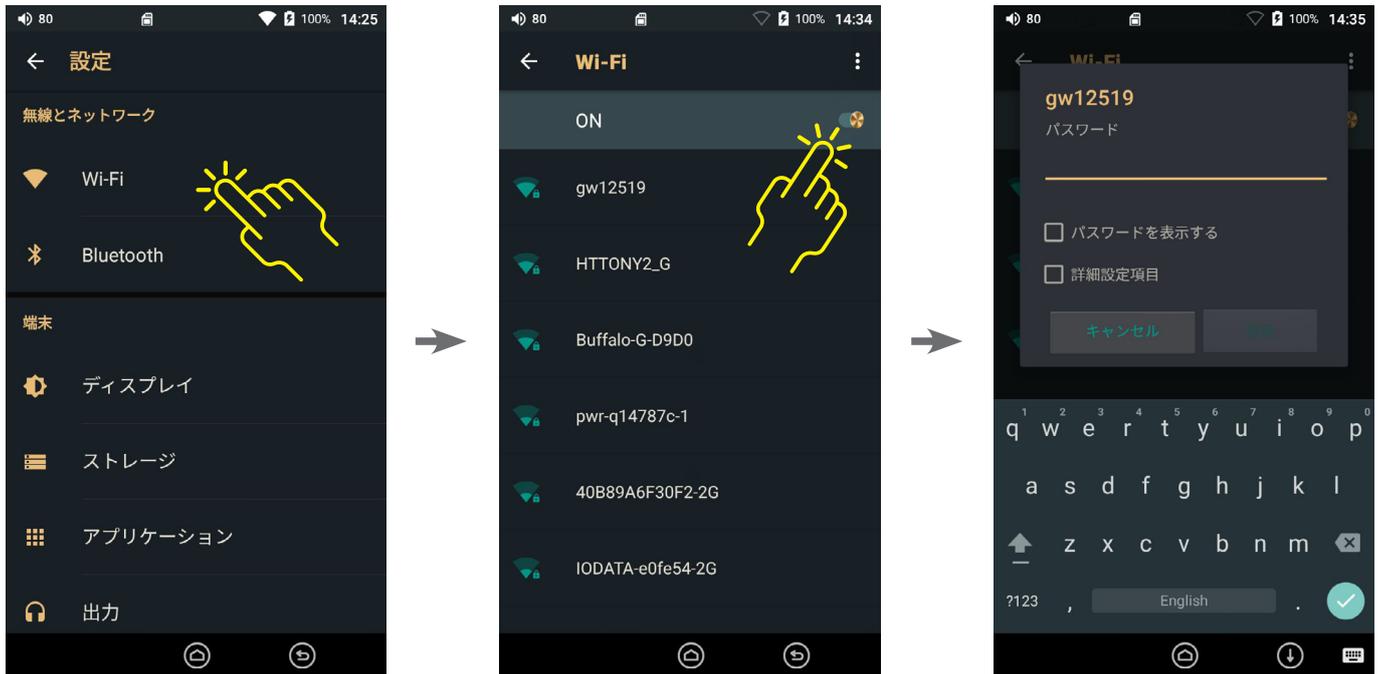
メニューから「設定」を選択します。

設定画面をスワイプして項目をスクロールすることができます。

設定を変更したい項目をタップすると、その項目の設定内容が表示され、設定を変更することができます。

## Wi-Fi設定

Wi-Fi設定ではWi-Fi接続に関する詳細を設定できます。



設定メニューから「Wi-Fi」を選択します。

 をタップしてWi-Fi接続を有効にすると、利用可能なネットワークが表示されます。

リストから接続したいアクセスポイントをタップして選択します。

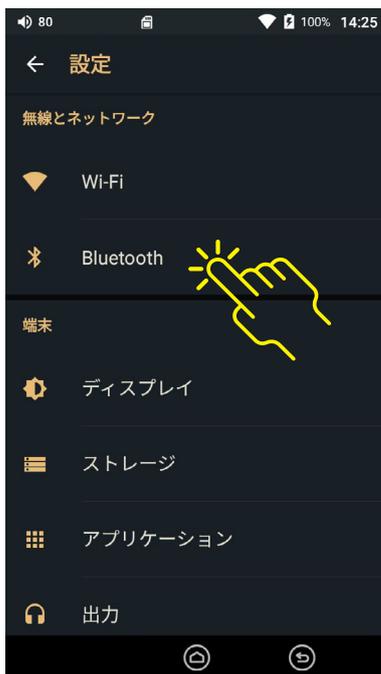
アクセスポイントの設定により接続時にパスワードの入力が求められる場合はパスワードを入力します。

アクセスポイント名を長押しするとオプションメニューが表示されます。

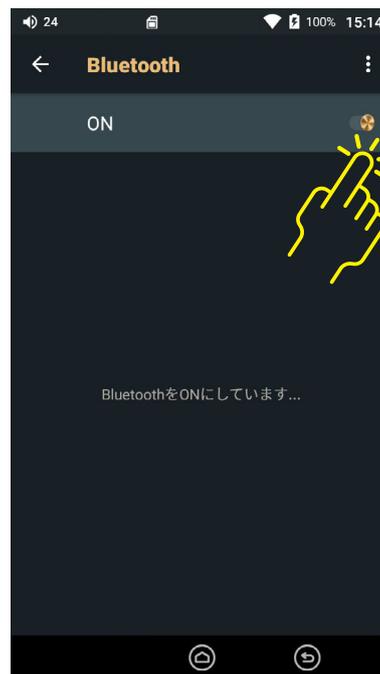
パスワードの入力時にはキーボードが自動的に表示されます。アクセスポイントに接続するためのパスワードを入力してください。

## Bluetooth設定

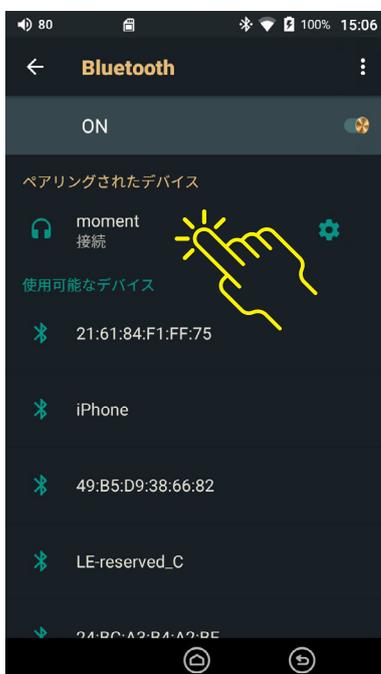
Bluetooth設定ではBluetooth機器との接続に関する詳細を設定できます。



設定メニューから「Bluetooth」を選択します。



 をタップしてBluetoothを有効にすると、使用可能なBluetoothデバイスが表示されます。



Bluetooth接続したいデバイスをタップして選択します。

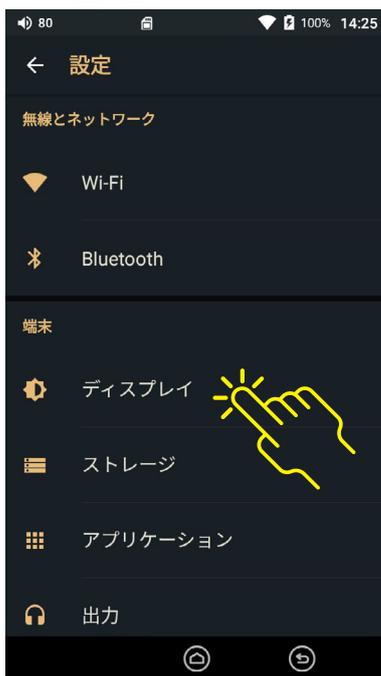
Bluetoothデバイスと接続するにはペアリングが必要です。ペアリングの方法についてはご使用のBluetoothデバイスのマニュアルを参照してください。



接続済みのBluetoothデバイス名を短くタップするとBluetooth接続を切断することができます。

## ディスプレイ設定

ディスプレイ設定では明るさのレベルと自動で画面を消すまでの時間を設定できます。



「ディスプレイ」をタップします。



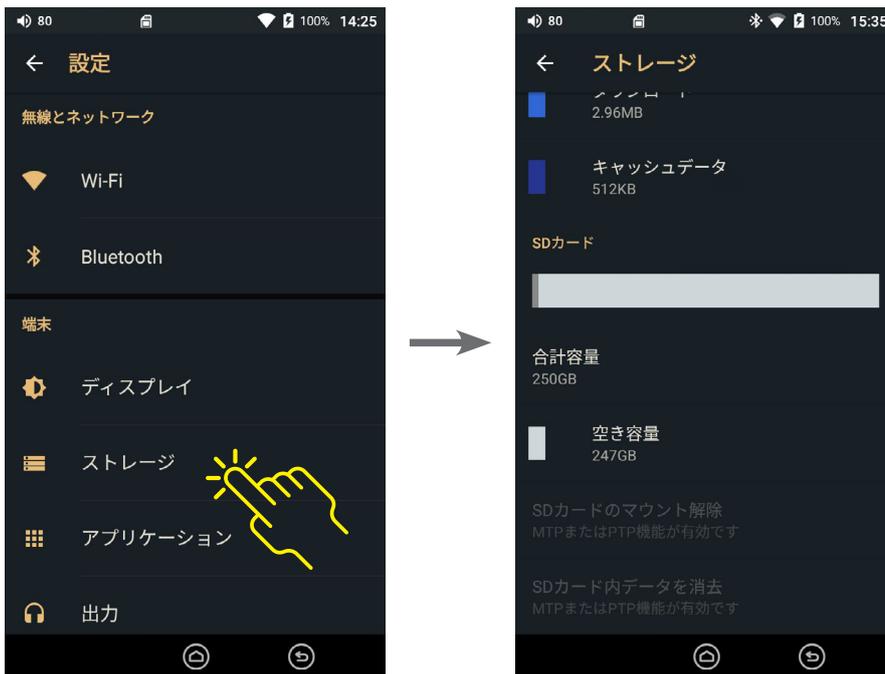
スライダーバーを左右にドラッグして画面の明るさを調整できます。



「自動ディスプレイオフ」をタップすると自動で画面が消えるまでの時間を設定できます。設定可能な時間は15秒、30秒、1分、2分、5分、10分、30分のいずれかです。

## ストレージ設定

本機のストレージの使用状況を確認と、MicroSDカードに関する操作ができます。



「ストレージ」を選択します。

内部ストレージ：  
使用状況と空き容量を確認できます。

SDカード  
SDカードが挿入されている場合は使用状況と空き容量を確認できます。

SDカードのマウント解除：SDカードを取り出す場合に選択します。

SDカード内のデータを消去：SDカード内のすべてのデータを消去します。

### ご注意：

「SDカード内のデータを消去」を選択すると、本当に消去を行うかの確認画面が表示されます。キャンセルする場合は確認画面で「キャンセル」を選択してください。確認画面で「OK」を選択した場合、消去を取り消すことはできません。SDカードのすべてのデータは消去され、復元することはできませんのでご注意ください。

## アプリケーション設定

アプリケーション設定では他社製のアプリのインストール、アンインストールができます。  
詳細については「[3. 他社製アプリのインストールとアンインストール方法](#)」を参照してください。

## 出力設定 ラインアウト

ラインアウト出力に関する設定を行うことができます。



設定メニューで「出力」を選びます。



 をタップしてラインアウトのオン・オフを設定  
※オンになると音量が最大となり、調節はできません。

### 注意!!

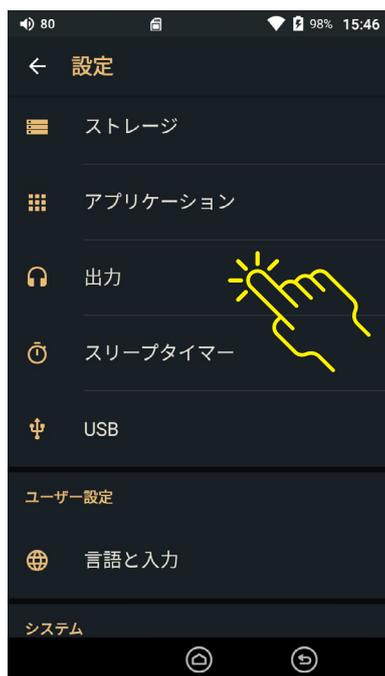
ラインアウトをオンにすると、音量が最大に設定されます。イヤホン/ヘッドホンは本機から必ず取り外してからラインアウトをオンにしてください。イヤホン/ヘッドホンをつけたままラインアウトをオンにすると、イヤホンやヘッドホンが故障する場合があります。イヤホン/ヘッドホンをしたままでラインアウトをオンにすると耳に重大な障害を与える場合がありますので絶対におやめください。

また、ラインアウトを使って他のオーディオ機器に接続する場合は、必ず接続先の機器の音量を最小にしてから本機を接続してください。

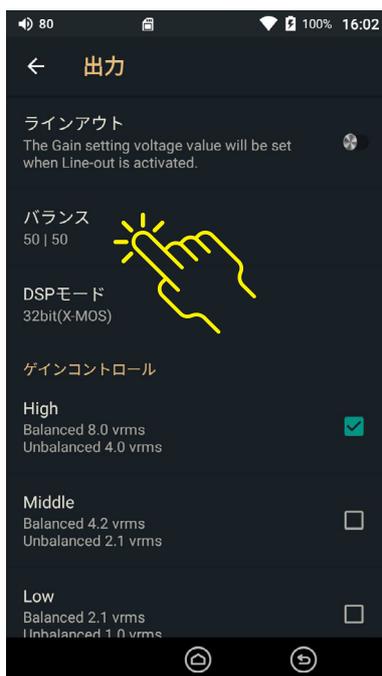
プラグを抜くとラインアウトモードは解除されます (3.5mmプラグの場合のみ)。

## 出力設定 バランス

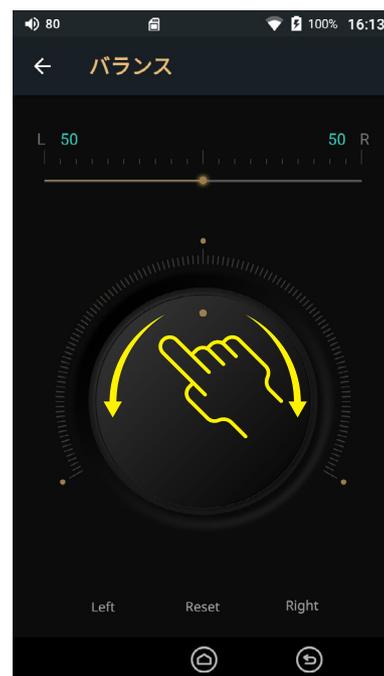
出力バランスに関する設定を行うことができます。



設定メニューで「出力」を選びます。



「バランス」をタップすると左右のバランスを調整するための画面が表示されます。



ダイヤルを回すか、画面下部の「Left」「Right」をタップして調整できます。「Reset」をタップすると初期値に戻ります。

## 出力設定 DSPモードとゲインコントロール

出力設定ではDSPモードとゲインコントロールを設定することができます。



「DSPモード」をタップします。



「DSPモード」選択します。

### DSPモードの種類

#### 自動:

フォーマットに応じて自動的に設定されます。DSDはネイティブ、それ以外はすべて24bit処理となります。

#### 32ビット (X-MOS)(初期設定):

すべてのフォーマットにおいてデバイス内のオーディオ信号を損失のないフル32bitにて処理します。DSDはネイティブ、MQAはフルデコードとなります。すべての音源において最も良い音質となりますが、多くの電力を消費しますのでバッテリーの減りが早くなります。

#### 24bit (I2S):

すべてのフォーマットを24bitにて処理します。DSDはPCMに変換してから再生されます。



ゲインコントロールを設定できます。

### ゲインコントロールの設定について

#### High:

出力を最大にします。(初期値)  
最大出力がバランス 8Vrms、アンバランス4Vrmになります。

#### Middle:

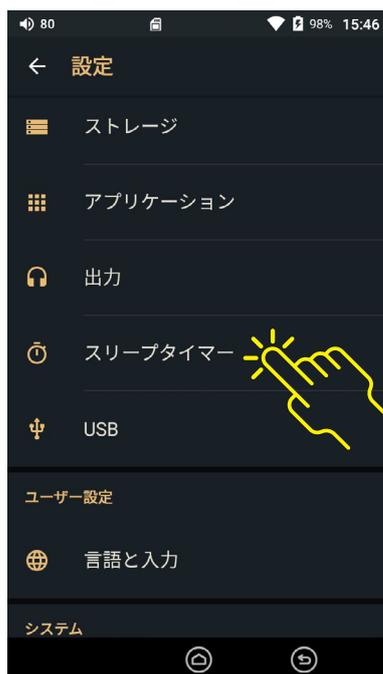
出力を中間にします。  
最大出力がバランス 4.2Vrms、アンバランス2.1Vrmになります。

#### Low:

出力を最小にします。  
最大出力がバランス 2.1Vrms、アンバランス1.0Vrmになります。

## スリープタイマー設定

スリープタイマーに関する設定を行うことができます。



「スリープタイマー」をタップしてタイマー設定画面を開きます。



をタップして、スリープタイマーのオン・オフを設定できます。スリープタイマーをオンにすると、設定された時間が経過すると曲の再生中であっても再生が停止され、本体はデープスリープに移行します。

スリープタイマーをオンに設定するとステータスバーにスリープアイコンが表示されます。



「タイマー時間設定」をタップしてタイマーが作動するまでの時間を指定できます。



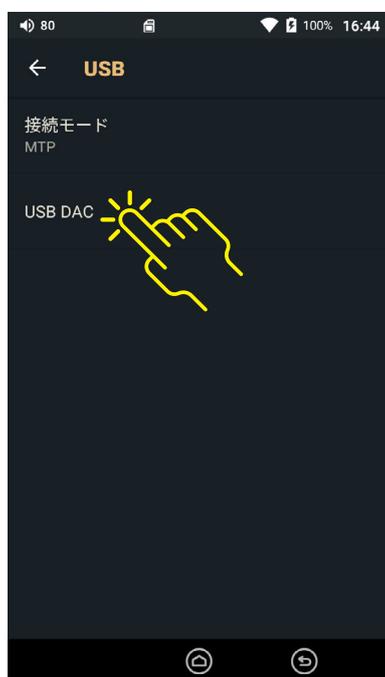
最短は10分で最長は3時間です。

## USB設定

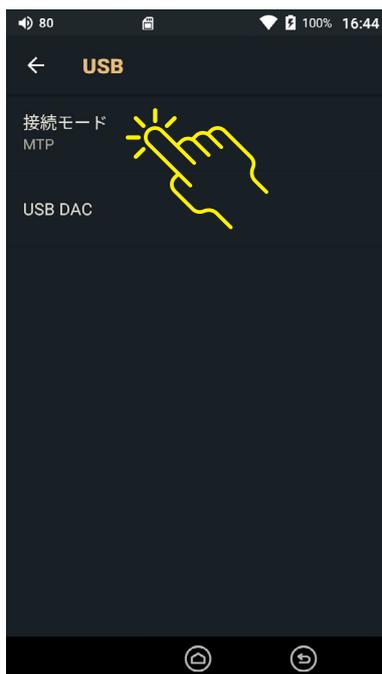
本機をパソコンに接続する際のUSBに関する設定を行うことができます。



「USB」をタップしてUSB設定画面を開きます。



「USB DAC」を選択すると本機はUSB DACモードに切り替わり、USB Host機器との接続待ち状態になります。



「接続モード」をタップするとパソコンと接続する際の接続モード設定画面が開きます。



**MTP:**  
Android MTPデバイスとして接続します。内部/外部ストレージのファイル操作を行う場合に選択してください。

**充電のみ:**  
データ通信は行わず、充電のみ行う場合に選択してください。



USB DACとして再生中は画面上に再生中のファイルのフォーマットが表示されます。

USB DACモードを終了する場合は  の部分をタップします。

## 言語と入力設定

本機のシステム言語とキーボード、入力方法を設定できます。



「言語と入力」を選択して、メニュー一言語、キーボード、入力方法設定画面を開きます。



「言語」を選択すると選択可能な言語一覧が表示されます。

初期状態ではシステム言語は英語ですので、日本語に変更する場合は「Settings」-「Language & Input」を選択し、「日本語」を選択してください。

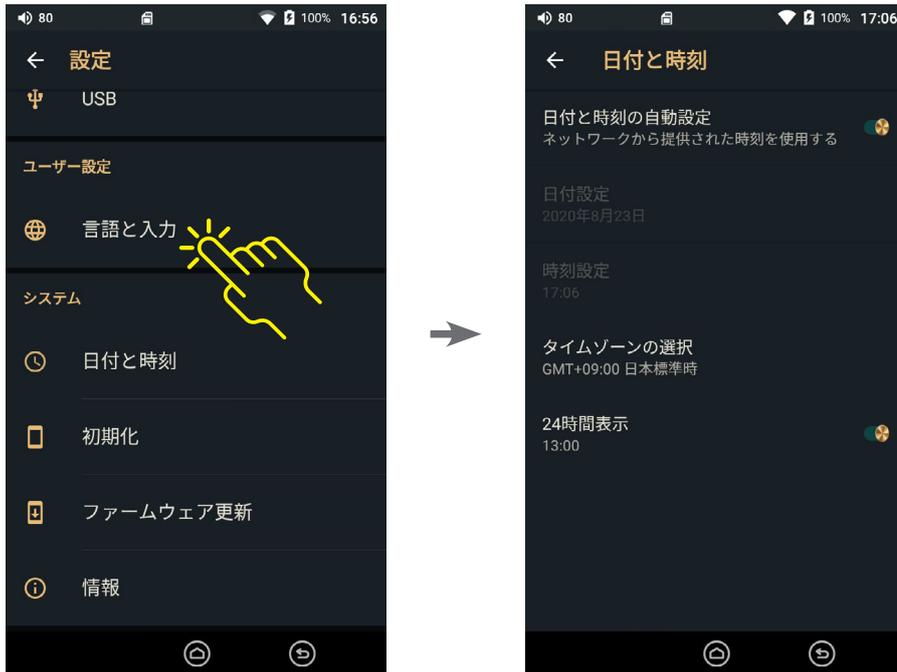


初期状態ではシステム言語は英語ですので、日本語に変更する場合は「Settings」-「Language & Input」を選択し、「日本語」を選択してください。

本機にプリインストールされているオープンソースの日本語入力(IME)および日本語キーボードを選択することは可能ですが、それらを使用した日本語入力については、弊社で動作保証はしておりません。日本語入力のご利用はご自身の判断で行ってください。

## 日付と時刻設定

本機のシステム日時を設定できます。



「日付と時刻」を選択します。

日付と時刻に関する設定を行うことができます。

### ご注意：

日付と時刻の自動設定は、本機がWi-Fiネットワークに接続されている場合のみ有効になります。Wi-Fiの設定方法は30ページ「Wi-Fi設定」をご覧ください。

## 初期化設定 (1) データベース初期化

本機のデータベースを初期化することができます。



「初期化」を選択して、初期化のメニュー画面を開きます。

「DB初期化」を選択すると本機のデータベースを初期化することができます。

データベース初期化の確認メッセージが表示されます。「OK」を選択するとDB初期化処理が開始されます。

### ご注意：

本機は初回起動時にMicroSDカードをスキャンしてファイルの情報 (アーティスト、アルバム名、ジャンルなど)のデータベースを生成します。メディアに保存されたデータでエラーが発生した場合や、大量のファイルを移動した場合などにデータベースを初期化してください。

データベースを初期化すると、登録してある「プレイリスト」の内容は消去されますのでご注意ください。

データベースの初期化処理ではシステムの設定は初期化されません。

## 初期化設定 (2)設定初期化、システムの初期化

「設定初期化」では、ユーザーが設定した設定内容が初期化されます。楽曲ファイルやアプリは保持されます。



「初期化」を選択して、初期化のメニュー画面を開きます。

「設定初期化」を選択すると本機  
の各種設定を初期化することが  
できます。

設定初期化の確認メッセージが示  
されるので「OK」を選択するとシステム  
設定の初期化処理が開始されます。

「システムの初期化」を行うと、本機の設定は出荷時の状態にすべて初期化され、インストール済みのアプリも消去されます。ただし、内部ストレージにダウンロードしたデータは保持されます。※本機の動作に異常がある場合、出荷時設定にリセットする前にシステムの初期化をお試しく下さい。万が一システムの初期化が失敗した場合に備えて、インストールしたアプリや内蔵ストレージに保存したデータは念のためバックアップをとってから実行してください。



「初期化」を選択して、初期化のメニュー画面を開きます。

「システムの初期化」を選択すると  
インストールされているアプリを  
含むすべてのデータが初期化され  
ます。

システムの初期化の確認メッセ  
ージが表示されるので「OK」を選択  
するとシステム設定の初期化処理が  
開始されます。

## 初期化設定 (3) 出荷時の設定にリセット

本機を出荷時の設定にリセットすることができます。



「初期化」を選択して、初期化のメニュー画面を開きます。

「出荷時の設定にリセット」を選択すると、工場出荷時の状態にリセットすることができます。

確認メッセージが表示されるので「OK」を選択すると 出荷時の設定にするためのリセット処理が開始されます。

### 「設定初期化/システムの初期化」と「出荷時の設定にリセット」の違い

設定初期化/システムの初期化を行うと、すべての設定項目は初期化されますが、内部ストレージに保存されているファイル(アプリ、楽曲ファイル)は削除されません。

出荷時の設定にリセットした場合は、本機は自動的に再起動して、すべての設定を初期化したうえで、内部ストレージに保存されているデータもすべて消去されます。また、お気に入り、プレイリストもすべて消去されますのでご注意ください。

プリインストールされている楽曲ファイルや、ご自分でインストールしたアプリも削除されますので、アプリが必要な場合は改めてインストールしてください。

## ファームウェア更新

本機のファームウェアを更新することができます。

※K100は発売時点ではOTAでの更新のみとなります。



「ファームウェア更新」を選択します。



「OTAアップデート」はネットワーク経由で本機にファームウェアファイルを直接ダウンロードして更新することができます。詳細は16ページを参照してください。



「アップデート」は手動での更新となります。事前にファームウェアファイルをパソコンでダウンロードして、本機のストレージにコピーしておく必要があります。

手動での更新方法の詳細は15ページを参照してください。



アップデートの実行を確認するメッセージが表示されるので「OK」を選択して更新を開始します。

※ファームウェアの更新には800MB以上の空き容量が内部ストレージに必要です。内部ストレージに十分な空き容量があることを確認してください。十分な空き容量がない場合はファームウェアの更新を行うことができません。

※ファームウェアの更新は必ずUSB電源アダプターに接続しているか、バッテリーの残量が50%以上残っている状態であることを確認してから行ってください。

## 情報

本機の情報を確認することができます。



「情報」を選択します。



「端末の状態」を選択します。



### 情報画面で参照可能な情報

**ライセンス:**  
本機で使用されているオープンソースライセンスの内容を参照できます。

**モデル番号:**  
本機のモデル番号を参照できます。  
K100

**Androidバージョン:** X.X.X

**カーネルバージョン:**  
本機のカーネルバージョンを参照できます。

**ビルド番号:**  
本機のシステムソフトウェアのビルド番号を参照できます。

### 端末の状態画面で参照可能な情報

**電池の状態:**  
電池の充電状態を参照できます。

**電池残量:**  
電池の残量を参照できます。

**IPアドレス:**  
本機のIPアドレス情報を参照できます。

**Wi-Fi MACアドレス:**  
本機のWi-FiのMACアドレスを参照できます。

**Bluetoothアドレス:**  
本機のBluetoothアドレスを参照できます。

**シリアル番号:**  
本機のシリアル番号を参照できます。

**稼働時間:**  
電源を入れてからの稼働時間を参照できます。

## 5. 製品の仕様

主な仕様	
製品名	K100
型番	KA-100
ディスプレイ	5" TFT タッチスクリーン (720 x 1280)
CPU/内部メモリー	ARM Cortex-A9 1.4GHz, クアッドコア/メモリー(RAM) : DDR3 1GB
ボタン	電源、再生/一時停止、前の曲、次の曲、ボリュームダイヤル
対応オーディオファイル形式	MQA, WAV, FLAC, ALAC, AIFF, WMA, MP3, OGG, AAC, APE(Normal, High, Fast) ネイティブDSD (DFF, DSF)
イコライザー/エフェクト	10バンド、標準/ユーザー 1/2/3/4/5
充電/データ転送	USB Type-C 入力端子 (充電・データ転送兼用, PC/MAC) 接続モード : MTP (メディアデバイス)
出力端子	3.5mmイヤホン出力 (光デジタル出力対応) 2.5mm 4極バランス出力
バッテリー	4,900mAh/3.6V リチウムイオン (サイズ: 21700, 保護回路なし)
充電持続時間/充電時間	再生時: 約8時間 (44.1kHz 16bit, 音量 75, 32Ω、画面オフ時)/充電時間: 約4時間
ストレージ	内部: 128GB 外部: MicroSDカードスロット (最大256GB, SDXC/exFAT/NTFS対応)
クロックソース/ジッター	50ps(Typ)
システムOS	カスタマイズアンドロイド
対応OS	Windows 7,8, 10 (32/64bit), MAC OS x 10.9 以降
Wi-Fi	802.11 b/g/n (2.4GHz)
Bluetooth	V4.0 (A2DP, AVRCP)
寸法	82.5 mm (幅) x 133.5 mm (高さ) x 16.8 (34.5) mm (奥行き)
重量	295 g
オーディオ性能	
D/Aコンバータ	Dual AK4497EQ
デコード	32bit / 384kHz Bit to Bit Decodingまで対応
周波数特性	±0.1 dB(20Hz~20kHz) アンバランス ±0.06 dB(20Hz~20kHz) バランス ±0.9 dB(10Hz~70kHz) アンバランス ±0.7 dB(10Hz~70kHz) バランス
S/N比	118dB @ 1kHz, アンバランス 120dB @ 1kHz, バランス
クロストーク	140dB @ 1kHz,アンバランス / 140dB @ 1kHz, バランス
THD+N	0.002% @ 1kHz
出力インピーダンス	バランス出力 2.5mm(1Ω) / イヤホン 3.5mm(2Ω)
出力レベル	アンバランス 4.0 Vrms / バランス 8.0 Vrms (無負荷時)
ボリューム調整	150 段階

## 6. 安全のための注意事項

本製品をご使用するにあたって、下記の安全のための注意事項を必ず守ってください。誤った取り扱いをしますと大きな事故につながる可能性があります。事故の発生を避けるためにも、製品をご使用いただく前には、本取扱説明書を必ず熟読し、内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。製品を正しく取り扱わなかった場合や下記の注意事項を守らずに発生したすべての事故に対して、当社は補償または賠償の責任を負いかねます。

- 製品を任意に改造、分解しないでください。製品の損傷および火災や感電などの重大な事故の原因になることがあります。また本製品の改造や分解によって発生した製品の損傷は品質保証期間にかかわらず無償サービスの提供を受けることができません。
- 本製品の上に濡れた物や重い品物を乗せないでください。漏電する可能性があります。
- 本製品付属のUSB Type-Cケーブル以外の市販の安価な低品質のケーブルを使用するとデータのコピーができない、パソコンで認識されない、充電効率の低下などの問題が発生する場合があります。
- 本製品を高熱機器/設備、火器周辺に置かないでください。
- 直射日光の当る場所や過度な高温(40℃)または低温(-4℃)の場所に本製品を置かないでください。
- 運転、歩行、運動など野外活動中での使用はひかえてください。事故の原因になることがあります。
- 大音量(80dB以上)で長時間続けて聴かないようにしてください。聴力に障害をもたらすことがあります。
- 本製品を水につけないようにしてください。本製品が浸水した場合の故障は製品の保証期間に関わらず有償修理となります。また、本製品が修理が不可能となる場合があります。
- 磁性の強い物(テレビ、スピーカー、モニター等)の横に本製品を置かないでください。
- 化学薬品、洗剤などで本製品の表面を掃除すると、製品の印刷及び加工面に深刻な損傷をもたらすことがあります。
- MicroSDカードは品質の確かな製品をご使用ください。安価な低品質のものを使用すると本製品の故障やデータの喪失などの原因となる場合があります。
- 本製品のファームウェア更新は必ずUSB電源アダプターを接続して行うか、またはバッテリー残量が50%以上ある状態で行ってください。アップデートの最中にバッテリーが切れると本製品のシステムが正常に更新されず故障の原因となる場合があります。
- 本製品にはMicro SDカードスロットがあります。Micro SDカードは本取扱説明書の図を参照のうえ正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入したことで発生する本製品の損傷は保証期間に関わらず有償修理となります。
- 本製品の落下や衝撃に注意してください。不注意により本製品を落としたり、強い衝撃を与えたことによるディスプレイの破損や本機の故障については保証期間に関わらず有償修理となります。
- ファイル/フォルダのコピー中にUSB Type-Cケーブルを取り外するとMicroSDカードが破損するおそれがあります。ファイルの転送中は絶対にケーブルを取り外したり転送元のパソコンの電源を切るなどの操作を行わないでください。

- MicroSDカードの取り外しは必ず本機の電源を切るか、またはMicroSDカードのマウントを解除してから行ってください。
- デスクトップパソコンと本製品を接続して充電する場合は、必ずパソコンの背面にあるUSB端子に接続してください。パソコン前面のUSB端子やUSBハブでは電力が不足して充電できない場合があります。
- 初めて使用するとき、または長い間使わずに再度使用する場合には完全に充電してからお使いください。
- 内部のバッテリーは消耗品であり、充電/放電回数により使用できる時間が徐々に短くなります。長期の使用により消耗したバッテリーを交換する際は有償となります。
- 市販の充電用バッテリーパックで充電する場合は本製品の過熱防止および安全のために、鞆など閉鎖された空間での充電を避け、開放された場所/空間で充電してください。
- 本製品の使用中に本機の過度な発熱、ケーブルが焼ける臭いがする、バッテリーが膨れ上がるなどの症状が発生した場合は直ちにすべての電源およびケーブルを取り外し、当社サポートセンターにお問い合わせください。

**以下は、リチウムイオン電池を取り扱う際の一般的な注意事項です。**

**いずれも発火や破裂などを引き起こす非常に危険な行為ですので、絶対におやめください。**

- 1) 乳幼児やペットのそばに放置しない(噛む等によって電池が破損し、発熱、破裂、発火の原因になります。)
- 2) 電池が液もれしたら火気から遠ざける。
- 3) 長い時間使用しない時は、電池を機器から取り出す。
- 4) 電池はショート(短絡)させない。他の金属と一緒にしない。
- 5) 電池に釘を刺したり、踏みつけたりしない。
- 6) 電池は充電器や機器に正しく接続する。
- 7) 決められた充電器で充電する。
- 8) 電池を直接電源コンセントやシガレットライターに接続しない。
- 9) 使用時間が極端に短くなった電池は使用しない。
- 10) 電池や電池パックは分解、改造はしない。
- 11) 電池に直接ハンダ付けしない。
- 12) 電池や電池パックの模造品(改造品)は危険です。
- 13) 電池は火中に投入しない。
- 14) 電池を電子レンジなどに入れない。
- 15) 電池や電池パックは濡らさない。
- 16) 電池や電池パックに強い衝撃を加えない。
- 17) 電池を高温になる場所に放置しない。
- 18) 電池の異常に気づいたら使用を中止する。(電池の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた時。)
- 19) 膨れた電池を無理やり機器に装着しない。
- 20) 熱がこもる場所でのリチウムイオン電池の充電はしない。
- 21) 電池は高温になる場所での充電や使用はしない。
- 22) 取り扱い説明書を読む。

## 7. 免責事項

- 本製品を音楽再生目的以外に使用することにより発生した損害、偶発的損傷および誤用や誤操作、不適切な使用による損害に対して当社は一切の補償および賠償の責任を負いません。
- 本取扱説明書に記載されているすべての製品の仕様および規格は製品の機能向上および性能改善のために事前の告知なく変更することがあります。
- 本製品の使用中に万一、データの損失や破損があった場合、当社では一切の責任を負いません。
- 他社製アプリの利用について  
K100は内部処理や設計の自由度を高め、より優れた音質や操作性を追及するため、オープンソースとしてAndoridを採用し、専用仕様としています。そのためGoogle Playストアには対応しておりません。また、一般のアンドロイド端末の様に常時ネットワーク接続(回線接続を含む)を前提とした仕様ではありません。そのためOSの機能は制限され、音楽プレイヤーに特化したものとなっています。他社製アプリについては、動作保証はいたしておりません。他社製のアプリを本機で使用すると、機能が制限される場合があります。アプリをインストールする場合すべて自己責任となり、他社製アプリをインストールしたことに起因する、いかなる不具合や損失等に対して当社は責任を負いません。他社製アプリをインストールして、K100の動作が不安定になったり、正常な操作ができなくなった場合には他社製アプリをアンインストールするか、K100を出荷時の状態に初期化してください(出荷時の状態に初期化した場合、インストールしたアプリはすべて消去されますので再インストールする必要があります。)他社製アプリは将来的にサービスやサポートが終了する場合があります、将来にわたってご利用を保証するものではありません。また、APK形式のすべてのアプリの動作やサービスを保証するものではありません。

音楽プレイヤーに特化した仕様ですので、パスワードロックなどのセキュリティはございません。紛失時や貸与時などに問題となるような、ブラウザをはじめとするパスワードを記憶をするアプリなどのインストールはご注意ください。また、出自不明なAPKアプリや個人情報などを扱うアプリのインストール及びそれに伴うネットワーク接続は、一般のアンドロイド端末同様危険が伴う場合がございますので絶対におやめください(機器の安定の面からもアプリのインストールは必要最小限をお奨めします)。これらによるいかなる損害も補償いたしません。

- 本製品は一般でも入手可能な21700型リチウムイオンバッテリーを採用しており、特殊なトルクスネジ(T6サイズ)によりバッテリーカバーが固定されております。カバーを取り外すことにより、バッテリーの取り外し及び取り付けが可能です。ユーザーご自身による交換等を推奨するものではありません。交換される場合はすべてユーザー様の自己責任となり、交換によって生じたいかなる損害も保証いたしません。国内でバッテリー単体(本体に組み込まれていない)で流通販売される21700バッテリーは、PSEマークの表記と全数検査が義務付けられています。PSEマークのない製品や製造元、輸入元が不明確な製品、品質に不安がある製品などはご使用にならないでください。
- 本製品の製品保証は、新品ご購入時に内蔵されているバッテリー(純正品)が装着されている場合のみ適用となります。動作不具合や修理の内容に関わらず、保証期間内における保証は原則として純正バッテリーとの組み合わせのみとなりますので、不具合調査や修理見積の際に純正以外のバッテリーが装着されている場合は保証が適用されません。また、純正品以外のバッテリーご使用に起因すると思われる、いかなる故障や損害については一切の責任を負いかねます。誤った使い方をされた場合は純正品であっても責任を負いかねますので、リチウムイオンバッテリーの一般的な注意や、本マニュアル等に記載の注意事項をよく読んで正しくご利用ください。

## 8. 困ったときは

Q: 電源が入りません。

A: バッテリーの残量とUSB電源アダプターとの接続状態を確認してください。バッテリーの残量がない場合は1時間以上充電してから電源を入れてください。

Q: 充電ができません。パソコンに接続しても認識されません。

A: 1. USB Type-Cケーブルが正しく取り付けられていることを確認してください。

2. デスクトップパソコンと接続する場合は必ずパソコン背面のUSB端子に接続してください。パソコン前面のUSB端子やUSBハブでは供給電力が足りずに充電や認識ができない場合があります。

3. OSがWindows 7以上で、Windows Media Player 10以上のバージョンがインストールされていることを確認してください。

4. それでも正常に認識されない場合は他のパソコンと接続して認識されるかを確認してください。

Q: 音が聞こえません。特定のファイルが再生できないか、再生時に雑音が入り動作が不安定です。

A: 1. ボリュームが「0」になっていないかを確認してください。

2. イヤホンの端子が本機のイヤホン入力端子に正しく挿入されているか確認してください。それでも音が出ない場合は他のイヤホンで確認してください。ご使用のイヤホンに断線がある場合に、音が聞こえないか、または雑音が入ることがあります。

3. 本機が対応しているファイル形式であるかを確認してください。対応していないファイル形式の場合は再生できません。対応オーディオファイル形式については47ページの製品仕様を参照してください。

4. ファイルのエンコード方法が原因でスムーズに再生できない場合や雑音が入る、動作が不安定になるなどの問題が発生する場合があります。本機が対応する他のオーディオファイル形式に変換して、ご使用することをお勧めします。

Q: 画面がたびたび消えます。

A: システム設定で「自動ディスプレイオフ」で画面が消えるまでの時間の設定を変更できます。

Q: アルバムやアーティスト、ジャンルリストに削除したファイル情報が表示されます。

A: SDカードのスキャン中にSDカードを取り出してしまった場合に内部のデータベースと実際のファイルとの間に不整合が生じる場合があります。そのような場合には「設定メニュー」→「初期化」→「DB初期化」を実行してください。内部のデータベースが更新されて内部ストレージおよびSDカードに実際に存在するファイルに基づいたリストに更新されます。DB初期化を実行すると「ユーザープレイリスト」も初期化され、内容は消去されますので、ご注意ください。

Q: アルバムのリストに同じ名前のアルバムが重複して表示されます。

A: それぞれのファイルのタグの情報が統一されていない場合に重複して表示される場合があります。

例えば、各ファイルのアルバム情報タグは同一であるにも関わらずアーティスト情報タグが、「苗字名前」となっているものと「苗字 名前」のようにスペースが入っているファイルが混在する場合には同じアルバム名が別のアーティストのアルバムとして重複して表示されます。そのような場合にはタグ情報を編集できるアプリを使ってファイルのタグ情報を確認してアーティスト名が統一されるように修正してから「設定メニュー」→「初期化」→「DB初期化」を実行してください。DB初期化を実行すると「ユーザープレイリスト」も初期化され、内容は消去されますので、ご注意ください。

Q. ラインアウトに設定しても、通常モードにもどってしまうことがあります。

A. ラインアウトモードは最大音量となりますので、3.5mmプラグを抜くと解除されるようになっています。

## 9. お問い合わせ窓口

製品に関するご質問、初期不良、修理等のお問い合わせは下記よりお問い合わせください。

**お問い合わせフォーム**

**<https://www.kontinum.jp/qform.html>**